



令和 8 年度 学 校 要 覧

東京都立町田の丘学園

〒195-0063 東京都町田市野津田町2003番地

電話番号：042-737-0570

ファクシミリ：042-737-0580

URL：<https://machida-sh.metro.ed.jp/site/zen/>



校章の由来

本校の校章は麦と太陽を図案化し、町田の頭文字の「 M 」を麦の上に配したものである。

麦は踏まれれば踏まれるほど強くたくましく育つ。
そのように障害を背負っていればいる程、麦のように強くたくましく育ってほしいという願いをこめている。

また、本校の教育の最終目標は労働（しごと）のできる子供を育てることである。
麦は人間の主食であり、そういう意味で労働を象徴している。

本校は自然の環境に恵まれ、附近には、春になると輝く太陽の光の中で青くおいしげる麦畑がたくさんある。

そのようなことを勘案して麦を図案化した。

赤地に金色で絵柄をとったのが小学部・中学部用。

青地に金色で絵柄をとったのが高等部用である。

デザイン 島田隆一（旧職員）
野津田へ移転したのを機に制定

目 次

I	学校のあゆみ	1
II	学校経営計画	3
	学校経営報告	6
III	教職員	10
IV	学級編制及び児童・生徒の実態	10
V	教育計画	
1	学校教育目標	11
2	6 学部の教育目標	11
3	各学部の授業時数の配当表	
	・ A 部門（肢体不自由教育部門）	
	小学部	12
	中学部	14
	高等部	16
	・ B 部門（知的障害教育部門）	
	小学部	23
	中学部	24
	高等部	25
4	令和 8 年度 年間行事予定	26
5	使用教科書	28
VI	運営組織等	
	東京都立町田の丘学園管理運営規程	29
VII	学校運営連絡協議会	
	都立町田の丘学園 学校運営連絡協議会設置要綱	36
	令和 7 年度 学校運営連絡協議会実施報告書	37
VIII	高等部卒業生進路先状況	40
IX	防災・安全対策	41
X	予算概要	45
XI	施設設備概要	46
	アクセス	47
	校歌	

I 学校のあゆみ

昭和 47 年 12 月 27 日	学校設置（都条例 138 号）
48 年 1 月 10 日	初代校長 高野 信寛 就任
3 月 31 日	仮設校舎完成（町田市山崎町 1140 番地、町田市より無償提供）
4 月 12 日	開校式並びに第 1 回入学式（精神薄弱教育小学部 3 学級認可）
50 年 3 月 20 日	町田市野津田町 2003 番地に完成した本校舎へ移転
4 月 1 日	精神薄弱教育と肢体不自由教育の併置校となる。
51 年 4 月 1 日	第 2 代校長 長友 邦明 就任（初代校長、都立久留米養護学校に転補）
52 年 4 月 1 日	高等部設置（精神薄弱教育高等部 1 学級）
53 年 3 月 25 日	高等部校舎完成
5 月 22 日	高等部校舎落成式及び開校 5 周年記念式典
55 年 4 月 1 日	第 3 代校長 尾崎 勝 就任（第 2 代校長、都立品川ろう学校に転補） 在宅訪問教育開始（島田療育園児対象）
56 年 11 月 13 日	昭和 56 年度「歯の健康づくり推進協力校」となり、全国学校歯科保健研究大会で研究発表。
58 年 2 月 26 日	開校 10 周年記念式典、校歌制定
59 年 4 月 1 日	第 4 代校長 福田 雅 就任
60 年 4 月 1 日	新設された都立多摩養護学校に児童・生徒 134 名転校
61 年 4 月 1 日	第 5 代校長 杉山 正昭 就任（第 4 代校長、都立矢口養護学校に転補）
62 年 7 月 6 日	プール改築
平成 2 年 4 月 1 日	第 6 代校長 板倉 捷重 就任
3 年 4 月 1 日	心身障害児理解教育地域推進校となる。
4 年 12 月 5 日	開校 20 周年記念式典を挙げる。
5 年 4 月 1 日	第 7 代校長 塚田 清 就任（第 6 代校長、都立八王子盲学校に転補）
9 年 4 月 1 日	第 8 代校長 浅井 松子 就任
12 月 25 日	校舎大規模改修のため仮設校舎に移転（町田市山崎町 569-1 番地）
11 年 7 月 26 日	本校舎に復帰
12 年 4 月 1 日	第 9 代校長 吉瀬 正則 就任（第 8 代校長、府中朝日養護学校に転補）
9 月 30 日	校舎改修記念式典を挙げる。
13 年 6 月 14 日	東京都立町田養護学校運営連絡協議会を設置する。
12 月 25 日	インターネットに学校ホームページを開設する。
14 年 9 月 30 日	開校 30 周年記念式典を挙げる。
11 月 1 日	リサイクル推進校に指定される。
11 月 16 日	30 周年を祝う会を挙げる。
16 年 4 月 1 日	第 10 代校長 市川 健一 就任（第 9 代校長、王子養護学校に転補） 職業教育推進の充実事業に指定される。
19 年 5 月 11 日	地域との連携による部活動振興実施校に指定される。
5 月 31 日	増築校舎（5 教室）完成
20 年 4 月 1 日	「東京都立町田の丘学園」に学校の名称変更をする。 職業教育推進校に指定される。

21年 4月 1日	第11代校長 神山 寛 就任（第10代校長 勇退） 外部専門家の導入
22年 2月 27日	公開研究会開催（以降、毎年開催）
24年 4月 1日	第12代校長 明官 茂 就任（第11代校長 勇退）
12月 17日	開校40周年記念式典を挙げる。創立40周年記念誌発行
3月 31日	山崎校舎完成（町田市山崎1丁目2番17号）
27年 4月 1日	第13代校長 村野 一臣 就任（第12代校長 勇退） 知的障害教育部門小学部、中学部山崎校舎に移転
28年 4月 1日	特別支援学校における宿泊防災訓練指定校 肢体不自由教育部門に学校介護職員を導入 知的障害教育部門に外部専門員を導入
30年 4月 1日	第14代校長 茂木 裕之 就任（第13代校長立川ろう学校に転補） 職業教育の充実事業 日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業 都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業 特別支援学校における芸術教育の推進事業
7月 1日	改築工事開始
31年 2月 27日	「菓子製造営業許可」を取得
4月 1日	知的障害教育部門高等部に学校設定教科「日本の伝統・文化」開講 都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業 特別支援学校における芸術教育の推進事業
令和 2年 4月 1日	第15代校長 緒方 直彦 就任（第14代校長青島特別支援学校に転補） 肢体不自由教育部門高等部に学校設定教科「日本の伝統・文化」開講
8月 20日	東校舎棟完成 供用開始
3年 4月 1日	医療的ケア児の保護者付添い期間の短縮化モデル事業
4年 4月 1日	第16代校長 三浦 昭広 就任（第15代校長永福学園に転補） 体育健康教育推進校
8月 17日	管理校舎棟一部完成 供用開始
5年 1月 10日	開校50周年を児童・生徒と祝う会を行う。
3月 20日	西校舎棟完成・管理校舎棟完成 供用開始
4月	体育健康教育推進校 知的障害の程度の重い児童・生徒のデジタル活用事業研究指定校
6年 4月	知的障害の程度の重い児童・生徒のデジタル活用事業研究指定校
7年 4月 1日	第17代校長 原島 広樹 就任（第16代校長永福学園に転補） 特別支援学校と高等学校等の協働的な取組 実施校
6月	グラウンド、実習棟、温室完成 改築工事竣工
8年 4月 1日	特別支援学校と高等学校等の協働的な取組 実施校 準ずる教育課程におけるデジタルを活用した他校との共同学習研究指定校 特別支援学校における養護教諭の業務改革支援モデル事業 知的障害特別支援学校高等部普通科の職業教育の充実事業

令和8年度 東京都立町田の丘学園 学校経営計画

本校は、肢体不自由教育部門及び知的障害教育部門に小学部・中学部・高等部が設置されている特別支援学校である。保護者や地域、関係機関と連携し、児童・生徒一人一人に応じた両教育部門における専門性の高い指導を行うことで、児童・生徒の能力や可能性を最大限に伸長する。

そして、東京都の教育目標、本校の教育目標及び東京都特別支援教育推進計画（第二期）の基本理念である「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸長して、社会参加・貢献できる人間を育成」を具現化させる学校を目指す。

学校教育目標 ーひとりひとりの子どもに生きる力を育てるためにー

- (1) じょうぶな体と明るい心を育てる。
- (2) 日常生活や社会生活に必要な基礎的習慣や態度を育てる。
- (3) すすんで遊び、学び、働く力を育てる。
- (4) 友達と仲良く協力し合う心を育てる。
- (5) 自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てる。

私は、二点を経営理念とし、学校経営計画を実施していく。

- 子供と教職員が輝ける学校づくり
- 子供が成長する喜びを保護者・地域と共有できる学校づくり

1 目指す学校像

- (1) 児童・生徒の人権を尊重するとともに、安心して主体的に学習できる学校
- (2) 保護者・地域のニーズに的確に応え、地域に貢献できる学校
- (3) 教職員一人一人が自分の力を発揮でき、矜持をもてる学校

2 まちおかビジョン

- (1) 仲間を大切にし、思いやりと規範意識のある児童・生徒の育成
- (2) 自立を目指し、社会参加しようとする児童・生徒の育成
- (3) 主体的に考え行動し、豊かな個性をもつ児童・生徒の育成

3 中期目標と方策

- (1) 人権尊重の精神に基づく教育活動の実施
- (2) 特色ある教育活動の充実及び個別最適な学びと協働的な学びの充実
- (3) 安全・安心な教育環境の整備及び地域と連携した防災対策等の強化
- (4) 地域に開かれた教育の展開及び特別支援教育に関する理解推進
- (5) 学校における働き方改革の推進

4 今年度の重点目標

令和7年度の取組を継続するとともに、以下の点を重点として、学校経営及び教育活動等の改善・充実を図っていく。

- ア 町田の丘学園の施設・設備と周辺地域の環境を十分に活用した教育課程と授業づくりの充実（町田の丘キャリア教育の再構築）
- イ 児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実
- ウ タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底
- エ 働き方改革の一層の促進
- オ 若手教員育成の組織的な取組
- カ 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進

5 今年度の取組目標と具体的方策

重点6項目を学校経営の5つの枠組みで具体策を整理し、目標を定めた。

(1) 教育課程と学習指導（自立活動を含む）の充実

①	各教科指導及び各教科等を合わせた指導（英語の学習含む）の充実	満足度95%以上
②	各教科等でのタブレット端末活用を通じた授業の推進	満足度90%
③	高等部作業学習等を通じた地域と連携した教育活動の一層の推進	両部門3回/年
④	保護者の方との共通理解を深めた個別指導計画の作成と指導の充実	満足度95%以上
⑤	野津田高校との協働的な取組の推進と充実	5回以上
⑥	教育活動全体を通じた健康・体力づくりの推進	満足度95%
⑦	教科学習等におけるA・B部門の交流及び共同学習の実施（高等部）	3回/年
⑧	高等部での主権者・消費者・環境教育の充実（社会、理科、家庭等）	各3時間程度/年

(2) 生活指導の充実

①	校内の環境整備と教室の整理整頓のための環境整備	1回/月
②	人権や発達段階等に即した指導、共感的で見通しのもてる指導	満足度95%以上
③	いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底 <SC活用>	いじめ0
④	教育活動全体を通じた挨拶及び返事に関する指導の推進	全教職員で実施
⑤	人権尊重及び生活年齢に即した呼称と指導、丁寧な言葉遣い徹底	満足度95%

(3) 進路指導の充実

①	進路指導の充実及び全生徒の進路希望の実現	進路実現100%
②	キャリア教育に関する保護者満足度の向上	満足度95%以上
③	A・B部門（中学部・高等部）におけるインターンシップ等の充実	希望者全員実施
④	自己肯定感及び自己有用感を高める社会貢献活動の実施	全校で30回/年
⑤	キャリア教育学習会、進路講演会等実施と情報提供の充実	4回以上/年
⑥	町田市、関係機関、企業との連携の強化（各種連絡会の開催）	3回程度/年

(4) 特別活動・その他

①	特別活動を通じた社会性や豊かな人間性を育む指導と安全指導	重大事故0
②	児童・生徒一人一人に応じた係活動、役割分担等の位置付け	一人一役以上
③	毎月のテーマ掲示による読書活動の推進	1回/月
④	高等部HRでの「SOSの出し方に関する指導」の実施	1回/学期
⑤	部活動の大会・発表会等への参加と安全に留意した活動徹底	部活動事故0
⑥	町田市立小・中学校との交流推進	3回以上/年
⑦	特別支援教育に関するセンター的機能の発揮	コーディネーター活用
⑧	高等学校における発達障害教育等支援のための訪問等実施	担当校1回以上

(5) 学校運営・組織体制

①	教育環境整備と安全管理の徹底	満足度95%
②	ホームページの内容充実とタブレット端末活用の積極的な情報発信	各便り学期1回以上発信
③	個人情報の適正な管理の徹底	個人情報事故0
④	教員系職員と行政系職員との連携を通じた円滑な学校運営	事故0
⑤	運行会社との連携によるSB及び専用車両の安全管理と安全運行	事故0
⑥	ハラスメント防止の徹底	ハラスメント0

⑦	体罰及び不適切な指導の根絶、いじめ未然防止徹底	体罰、いじめ 0
⑧	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底（一需センター契約）	センター契約 60%
⑨	業務の平準化及び効率的業務遂行	残 45 時間未満の増
⑩	保護者・地域と連携した防災・防犯対策及び訓練の実施	各 1 回／年
⑪	医療的ケアの円滑で安全な実施	事故 0
⑫	初任教職員へのメンター導入を通じた育成環境整備	満足度 90%以上
⑬	関係機関と連携した体育館及びグラウンドの地域開放推進	月平均 4 回程度
⑭	教職員研修の充実 ・若手教員育成の組織的な取組（月 1 回） ・個に応じた教材・教具の工夫に向けた研修会（1 回） ・サービス事故防止研修等（3 回以上） ・いじめに関する計画的な研修（3 回以上） ・人権に関する定期的な研修（全教職員 3 回） ・S B の安全運行を含んだ研修会・説明会等（4 回） ・医療的ケア緊急時の対応研修（2 回） ・アレルギー対応訓練、A E D 講習・救命救急訓練（各 1 回以上） ・メンタルヘルス研修（1 回以上）	事故 0 事故 0

令和7年度 東京都立町田の丘学園 学校経営報告

令和7年度の学校経営計画達成状況について以下のとおり報告する。

1 本年度の経営の重点テーマ

- (1) 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進
- (2) 児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実
- (3) タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底
- (4) 働き方改革の一層の促進
- (5) 若手教員育成の組織的な取り組み
- (6) 体育館及びグラウンドの有効活用の推進

2 今年度の取組目標と具体的方策、数値目標及び結果

【標語】 A：達成（目標値以上） B：ほぼ達成（目標値の90%以上）
C：やや未達成（目標値の80%以上90%未満） D：未達成（目標値の80%以下）

(1) 人権を尊重した教育の徹底

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	人権と生活年齢に配慮した呼称及び丁寧な言葉遣いの徹底	満足度95%以上	A：満足度99.3%
②	体罰及び不適切な指導の根絶及び、いじめ防止の徹底	体罰0、いじめ0	A：体罰0、いじめ0
③	個人情報の適正な管理の徹底	個人情報事故0	A：個人情報紛失0
④	道德教育の視点を明確に位置付けた指導の推進	重大事故0	A：重大事故0
⑤	ハラスメント防止	ハラスメント0	A：ハラスメント0
⑥	人権に関する定期的な研修の実施	3回/年	A：年間3回実施

(2) 教育課程と学習指導（自立活動を含む）の充実

①	各教科指導及び各教科等を合わせた指導（英語の学習含む）の充実	満足度95%以上	A：満足度96.3%
②	個に即した個別指導計画作成（自立活動流れ図含む）と指導の充実	満足度95%以上	A：満足度98.1%
③	個に応じた教材・教具の工夫に向けた研修会実施	1回/年	A：1回以上実施
④	各教科等でのタブレット端末活用を通じた授業の推進	5回/学期	A：学期5回以上活用 89.3%
⑤	高等部作業学習等を通じた地域と連携した教育活動の一層の推進	両部門3回/年	A：3回実施
⑥	教科学習等におけるA・B部門の交流及び共同学習の実施（高等部）	3回/年	A：作業学習で3回実施

(3) 進路指導の充実

①	進路指導の充実及び全生徒の進路希望の実現	進路実現100%	A：100%
②	キャリア教育に関する保護者満足度の向上	満足度95%以上	B：満足度92.6%
③	A・B部門（中学部・高等部）におけるインターンシップ等の充実	希望者全員実施	A：希望者全員実施

④	自己肯定感及び自己有用感を高める社会貢献活動の実施	全校で30回／年	A：34回
⑤	キャリア教育学習会、進路講演会等実施と情報提供の充実	4回以上／年	A：5回実施
⑥	町田市、関係機関、企業との連携の強化（各種連絡会の開催）	3回程度／年	A：5回実施

（４） 生活指導の充実

①	いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底と計画的な研修実施	3回以上／年	A：研修3回実施
②	人権や発達段階等に即した指導、共感的で見通しのもてる指導実施	満足度95%以上	A：満足度99.4%
③	校内の環境整備と教室の整理整頓のための環境整備日の設定	1回／月	A：月1回実施
④	スクールバスの安全運行を含んだ研修会・説明会等の実施	4回／年、事故0	A：4回実施、事故0
⑤	運行会社との連携によるＳＢ及び専用車両の安全管理と安全運行	事故0	A：事故0
⑥	教育活動全体を通じた挨拶及び返事に関する指導の推進	全教職員で実施	B：一層の推進を図る

（５） 特別活動・その他

①	高等部での主権者・消費者・環境教育の充実（社会、理科、家庭等）	各3時間程度／年	A：各4回実施
②	毎月のテーマ掲示による読書活動の推進	1回／月	A：月1回実施
③	部活動の大会・発表会等への参加と安全に留意した活動徹底	部活動事故0	A：事故0件
④	特別活動を通じた社会性や豊かな人間性を育む指導と安全指導の実施	重大事故0	A：重大事故0
⑤	高等部HRでの「ＳＯＳの出し方に関する指導」の実施	1回／学期	A：各学期1回実施
⑥	児童・生徒一人一人に応じた係活動、役割分担等の位置付け	一人一役以上	A：一人一役を位置付け

（６） 安全・安心、健康・体力づくり

①	保護者・地域と連携した防災・防犯対策及び訓練の実施	各1回／年	A：各1回実施
②	教育活動全体を通じた健康・体力づくりの推進	満足度95%	A：満足度97.4%
③	教育環境整備と安全管理の徹底	満足度95%	A：満足度98.4%
④	アレルギー対応訓練、ＡＥＤ講習・救命救急訓練等実施	各1回以上／年	A：1回以上実施、事故0
⑤	医療的ケアに関する事故の未然防止と緊急時の対応力向上	研修2回、事故0	A：2回以上実施、重大事故0
⑥	ヒヤリハット事例の積極的な蓄積と共有を通じた事故未然防止の徹底	事故0	B：一層の事故防止を図る

（７） 広報、地域交流、地域支援等

①	関係機関と連携した体育館及びグラウンドの地域開放推進	月平均4回程度	C：関係部署との調整が完了
---	----------------------------	---------	---------------

②	野津田高校との協働的な取組の推進と充実	5 回以上	B：委員会を 5 回開催し、次年度計画を作成
③	町田市立小・中学校との交流推進	3 回以上/年	A：3 回実施
④	特別支援教育に関するセンター的機能の発揮	専任コーディネーター活用	A：コーディネーターを増員し、継続発揮を図る
⑤	高等学校における発達障害教育支援のための訪問等の実施	担当校 1 回以上/年	A：担当 5 校全校実施
⑥	HP の内容充実とタブレット端末活用の積極的な情報発信	各学部等お便り 学期 1 回以上発信	B：満足度 89.2%

(8) 学校運営・組織体制

①	服務事故防止研修、職員会議等による服務規律の徹底	事故 0	A：事故 0
②	業務の平準化及びメンタルヘルス研修の実施	時間外在校時間月平均 4 5 時間未満、研修会 1 回実施	C：月当たり 45h 以上 12% A：校医により実施
③	初任教職員へのメンター導入を通じた育成環境整備	初任者満足度 90%以上	B：初任者の個性によるところが大きい
④	若手教員育成の組織的な取組みの推進	月 1 回	A：各 1 回実施
⑤	教員系職員と行政系職員との連携を通じた円滑な学校運営	主幹・主任で対応 事故 0	A：適切な対応実施
⑥	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底（一需センター契約）	センター契約 60%	C：52.8%

3 本年度のまとめと令和 8 年度に向けた方針

(1) 本年度のまとめ

ア 全体

学校評価アンケートを 2 回実施し、課題に迅速に対応しようとしたことで、保護者回答（以下「学校評価（保護者）」と記す）回収率が昨年度 89%から 91%に向上した。

イ 人権を尊重した教育の徹底

人権に関する学校評価（保護者）の肯定的な評価の割合は、99.3%であった。昨年度は、93.5%であり、児童・生徒の呼称や声のトーンについて改善を図った点が、評価された。

ウ 教育課程と学習指導（自立活動を含む）

学習指導に関しては、学校評価（保護者）において肯定的な評価の割合は、96.2%であった。昨年度は、94.5%であり、高い評価を得ている。

ICT 機器を活用した学習に関する評価に関しては、肯定的な評価が 89.3%であった。昨年は 81.2%で上昇しているが、ICT 機器の学習における利活用を引き続き促進するとともに、活用状況などについての情報発信を一層図ることが課題である。

エ 進路指導

進路指導・キャリア教育に関しては、学校評価（保護者）において肯定的な評価の割合は、92.6%であった。昨年度は、91.2%であり上昇しているが、学校全体で一層の推進に努める。社会貢献活動は、数値目標を 4 回上回り、町田の地域を活用した取組をより一層充実し、児童・生徒の自己肯定感や自己有用感の向上と社会貢献意識の醸成を高めていく。

オ 生活指導

生活指導に関しては、学校評価において「子供たちは、期待通りの楽しい学校生活を送れていますか」の質問に対して、肯定的評価が 97.0%であった。喜ばしい成果である。

「生活指導、環境整備、防災、安全対策等への取組は十分に行われていますか」の質問に対し

ては、肯定的評価が98.4%であった。引き続き、防災については、いつ・どこで発生するか分からないという高い危機意識をもって取り組む。

カ 特別活動・その他

「子供一人一人の学習課題に応じた指導が行われていますか」の質問に対して、肯定的評価が98.1%であった。「わかった、できた、頑張った」などの達成感や自己肯定感が向上する教育活動を通し、楽しい学校生活が送れるようにする。

キ 安全・安心、健康づくり

安全・安心、健康づくりに関しては、学校評価において肯定的評価が97.4%であった。なお、アレルギー対応や保健面での重大事故は0件であった。引き続き、アレルギー対応や医療的ケアの安全・安心な実施について保健給食部に加え、医療的ケア部を組織して取り組んでいく。

ク 広報、地域交流、地域支援等

広報、地域交流、地域支援等に関しては、学校評価において「学校は、保護者や地域に対して、必要な情報を発信できていますか」の質問に対し、肯定的評価が97.1%であった。HPの更新回数は減ったが、他の情報発信方法が定着してきた結果であると考ええる。

また、野津田高等学校との協働的な取組の充実に本年度から行っており、この情報発信の充実も図っていく。

ケ 学校運営・組織体制

学校運営・組織体制に関しては、「保護者と教員とのコミュニケーションは十分に取れていますか」という質問に対し、肯定的評価が94.5%に微減した。PTAとの連携を一層深めるとともに、各学年担任会により組織的なコミュニケーションの促進を図っていく。

また、分掌部の業務整理と進行管理を行い、ライフ・ワークバランスを進めることにより、教職員の心身の健康を守ることで教育活動の維持・向上に努める。

(2) 令和8年度の方針

令和7年度の取組を継続するとともに、以下の点を重点として、学校経営及び教育活動等の改善・充実を図っていく。

ア 町田の丘学園の施設・設備と周辺地域の環境を十分に活用した教育課程と授業づくりの充実 ・町田の丘キャリア教育の再構築

イ 児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実

ウ タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底

エ 働き方改革の一層の促進

オ 若手教員育成の組織的な取組

カ 人権尊重の精神に基づく教育活動の推進

Ⅲ 教職員

(A部門)と知的障害教育部門(B部門)を併置する特別支援学校

校長 1名	副校長 3名	主幹教諭 7名	指導教諭 0名	主任教諭 27名
教諭 122名	主任養護教諭 1名	養護教諭 1名	非常勤教員 6名	学校介護職員 21名
経営企画室：10名（経営企画室長1名、課長代理1名、主任1名、主事1名、栄養士2名、事務支援員1名、用務専門員3名）、看護師16名（主任看護師：1名、主事看護師1名、主任非常勤看護師：1名、総合非常勤看護師：1名、非常勤看護師：12名）、バスクラーク：1名、ICT支援員1名、副校長支援員1名、スクールカウンセラー1名				

※教員数合計には、病気休職中の教職員を含み、産前産後・育児休業中及び前倒し任用の職員を除く。

Ⅳ 学級編制数及び児童・生徒の実態

(児童・生徒数) 378名										(学級数) 83学級				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	訪問	計		普通学級	重重学級	訪問学級	計	担任数
A部門	小学部	6	9	4	4	2	6	2	33名	7	4	1	12	18名
	中学部	8	3	5				2	18名	3	3	1	7	10名
	高等部	4	4	5				0	13名	3	1	0	4	8名
	A部門 計								64名	13	8	2	23	36名
B部門	小学部	34	20	15	13	17	13		112名	0	18	7	25	41名
	中学部	22	23	25					70名	9	3	3	15	24名
	高等部	48	44	40					132名	17		3	20	42名
	B部門 計								314名	26	21	13	60	107名
担任外教員	A部門8名 B部門7名 (主幹教諭、養護教諭、進路専任等)												教員数合計	158名

＜スクールバス＞ 22台

(相原、金井、南成瀬、鶴川、金森、すずかけ、成瀬、つくし野、能ヶ谷、鶴間、常盤、成瀬台、南町田、薬師、玉川、小川、小山田、真光寺、木曽、しあわせ野、森野、町田)

＜医療的ケア専用車両＞ 4台 (南金森、滝の沢、大蔵、木曽西)

○ 特 色

- ① 児童・生徒一人一人の実態に応じた多様な教育課程の編成・実施
- ② 各教科(生活、国語、算数・数学、理科、社会等)の系統的な指導の充実
- ③ キャリア教育の充実及び社会貢献活動の促進
- ④ 特別支援教育センター的機能の発揮
(巡回相談、都立版エリアネットワークに基づく近隣の高等学校支援等)
- ⑤ 自立活動の外部専門家(言語聴覚士、理学療法士等)を活用し、専任スタッフと学級担任とで連携した自立活動の推進(指導・相談・援助)
- ⑥ 読書活動の推進と図書室の積極的活用による学習活動の充実

V 教育計画

1 学校教育目標

－ひとりひとりの子どもに生きる力を育てるために－

- (1) じょうぶな体と明るい心を育てる。
- (2) 日常生活や社会生活に必要な基礎的習慣や態度を育てる。
- (3) すすんで遊び、学び、働く力を育てる。
- (4) 友達と仲良く協力し合う心を育てる。
- (5) 自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てる。

2 6学部の教育目標

	小 学 部	中 学 部	高 等 部
知的 障害 教育 部門	遊ぶこと・感じること・考えること・分かることを楽しめる児童を育てる。 1 心身ともに健康で元気に生活できる。 2 基本的な生活習慣を身に付ける。 3 人や物に関心を広げる。自分で考え行動する。 4 教師や友達との関わりを広げみんなと遊べる。 5 自分の気持ちや要求を伝え合える。	人との関わりの中で、一人一人が豊かに生きる力を育む。 1 健康を保持・増進し、体を使って元気に活動できるようにする。 2 身の回りのことに自ら取り組む意欲を育む。 3 よく見、よく聞き、よく考える力を育む。 4 周囲の人に関心をもち、関わりながら活動できるようにする。 5 自分の気持ちを豊かに表現する力を育む。	仲間と共に豊かに生きていく力を育てる。 1 心身の健康保持・増進に努める。 2 社会生活に必要な基礎知識、習慣を身に付け、よりよく生活していく力を育む。 3 自ら考え、判断し、行動する力を育む。 4 人と豊かに関わる力を育む。 5 集団の中で自分の気持ちや考えを伝え合う力を育む。
肢体 不自由 教育 部門	意欲をもって生きる子供を目指して 1 健康な体を作り、いきいきと生活する力を育む。 2 様々な経験を通して、豊かな感性や興味・関心を育む。 3 自分の気持ちや要求を表現する力を育む。 4 共に活動する中で、人と関わる力を育む。	楽しみをもって豊かに生きる力を伸ばすために。 1 健康保持・増進に向かい、調和のとれた発達を図る。 2 自立的な生活を目指し、自分でできることを増やす。 3 感じる力を育て、よく見たり、聞いたり、考えたりする。 4 人との関わりの中から気持ちを豊かにしていくとともに、相手の気持ちを汲む力を付ける。 5 自分の気持ちや考えを、言葉やその他の手段で周りの人に伝える。	仲間と共に豊かに生きていく力を育てる。 1 心身の健康保持・増進に努める。 2 社会生活に必要な基礎知識、習慣を身に付け、よりよく生活していく力を育む。 3 自ら考え、判断し、行動する力を育む。 4 人と豊かに関わる力を育む。 5 集団の中で自分の気持ちや考えを伝え合う力を育む。

3 各学部の授業時数の配当表

肢体不自由教育部門 小学部 準ずる教育課程の授業時数の配当

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の年間授業時数配当表

各教科等		学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語		309.8	315.4	245.4	248.8	175.7	175.3
	社会				70.7	90.0	101.3	105.0
	算数		136.7	175.0	175.9	176.0	175.0	175.1
	理科				90.0	106.0	105.4	105.4
	生活		104.2	105.3				
	音楽		69.6	70.7	60.0	61.0	51.0	50.0
	図画工作		71.6	71.1	60.3	60.2	51.0	50.0
	家庭						60.0	55.2
	体育		102.3	89.6	68.4	78.8	56.1	53.5
	外国語						70.0	70.0
	小計		794.2	827.1	770.7	820.8	845.5	839.5
道徳科			38.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
外国語活動					35.5	37.7		
総合的な学習の時間 ()					70.3	70.1	70.4	70.0
特別活動（学級活動）			37.0	35.0	35.7	35.6	35.5	35.6
自立活動			42.6	34.2	38.8	34.1	35.7	36.6
年間総授業時数			911.8	931.3	986.0	1033.3	1022.1	1016.7

肢体不自由教育部門 小学部 知的代替及び自立活動を主とする教育課程の授業時数の配当

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の年間授業時数配当表

① 各教科

			学年別授業時数											
			1(知的)	1(自立)	2(知的)	2(自立)	3(知的)	3(自立)	4(知的)	4(自立)	5(知的)	5(自立)	6(知的)	6(自立)
知的障害 特別支援 学校の各教科	教科	内 容												
	生 活	各教科等を合わせた指導で行う。(基本的な生活習慣の確立)												
	国 語	絵本の読み聞かせ、パネルシアター、ペープサート、ことば、おはなし	73.7	149.1	72.7	147.4	73.7	114.4	103.6	146.1	105.3	171.1	107.3	172.1
	算 数	数量等の概念の基礎を作る	72.7		73.7		73.7		108.7		106.7		107.4	
	音 楽	楽器を使ったリズム、リズムに合わせて身体を動かすリトミック、歌、鑑賞	37.7	36.4	37.7	36.4	37.7	38.0	38.7	34.0	37.7	38.7	37.7	38.7
	図画工作	フィンガーペインティング、粘土、紙工作	76.7	34.0	78.7	35.0	77.7	34.0	77.7	39.0	76.0	38.0	73.7	37.0
	体 育	バランス運動、ダンス、サーキット、ボールゲーム	36.4	35.7	36.4	36.7	35.4	37.7	36.4	42.0	37.4	41.0	38.7	41.0
小 計			297.2	255.2	299.2	255.5	298.2	224.1	365.1	261.1	363.1	288.8	364.8	288.8

② 道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

		内 容	学年別授業時数											
			1(知的)	1(自立)	2(知的)	2(自立)	3(知的)	3(自立)	4(知的)	4(自立)	5(知的)	5(自立)	6(知的)	6(自立)
道 徳 科		各教科等を合わせた指導で行う。(挨拶、家族への感謝、おもいやりの心など)												
外国語活動		各教科等を合わせた指導で行う。(外国語を含めたリトミック・あいさつなどのロールプレイ)												
総合的な学習の時間 ()		重複障害等に関する教育課程の取扱いにより設けない。												
特別活動 (学級活動)		各教科等を合わせた指導として行う。(季節行事、誕生会等を主として生活単元学習として行う)	40.0	41.0	40.0	40.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	40.0	41.0	40.0
自立活動		四肢・体幹の変形、拘縮の予防、正しい運動動作の経験と習得、挨拶・返事・物への働きかけなどコミュニケーションの習得	344.6	385.6	351.7	395.4	363.0	437.1	338.1	444.1	331.9	407.2	330.0	407.0
小 計			384.6	426.6	391.7	435.4	404.0	478.1	379.1	485.1	372.9	447.2	371.0	447.0

③ 各教科等を合わせた指導

		内 容	学年別授業時数											
			1(知的)	1(自立)	2(知的)	2(自立)	3(知的)	3(自立)	4(知的)	4(自立)	5(知的)	5(自立)	6(知的)	6(自立)
日常生活の指導		身辺処理(協力動作、片づけ、準備等)、基本的な生活習慣(睡眠、排せつのリズム等の確立)、朝・帰りの会(当番、係活動、あいさつ等)、給食(片付け、準備等)等	211.0	211.0	214.7	214.7	233.7	233.7	247.5	247.5	247.1	247.1	246.8	246.8
遊びの指導														
生活単元学習		気持ちを表すロールプレイ・外国語のリトミック・調理学習、行事の事前事後学習、季節行事への取り組み等、道具遊び、ごっこ遊び等	35.0	35.0	39.0	39.0	71.0	71.0	60.0	58.0	61.0	61.0	57.0	57.0
小 計			246.0	246.0	253.7	253.7	304.7	304.7	307.5	305.5	308.1	308.1	303.8	303.8

年間総授業時数 (①+②+③)		学年別授業時数											
		1(知的)	1(自立)	2(知的)	2(自立)	3(知的)	3(自立)	4(知的)	4(自立)	5(知的)	5(自立)	6(知的)	6(自立)
		927.8	927.8	944.6	944.6	1006.9	1006.9	1051.7	1051.7	1044.1	1044.1	1039.6	1039.6

肢体不自由教育部門 中学部 準ずる教育課程の授業時数の配当

(1) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の年間授業時数配当表

各教科等 \ 学年		1	2	3
各教科	国 語	142.1	143.1	106.4
	社 会	107.4	107.7	141.7
	数 学	143	107.7	141.4
	理 科	106	141	141
	音 楽	48	38	36
	美 術	46.7	36.7	36
	保健体育	38	38	37
	技術・家庭	73	73	35
	外国語（英語）	142.4	142.4	141.1
	小 計	846.6	827.6	815.6
道 徳 科		36	36	35
総合的な学習の時間 （総合）		52	72	71
特別活動（学級活動）		36.7	36.7	36.6
自 立 活 動		70.8	72.5	70.1
年間総授業時数		1042.1	1044.8	1028.3

肢体不自由教育部門 中学部 知的代替及び自立活動を主とする教育課程の授業時数の配当

(1) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動等の年間授業時数配当表

① 各教科

			学年別授業時数					
			1(知的)	1(自活)	2(知的)	2(自活)	3(知的)	3(自活)
知的障害特別支援学校の各教科	教科	内 容						
	国 語	本の読み聞かせ、言葉の理解、表現・ICT機器による文字、文章入力操作等	71.4	146.7	71.4	146.7	70.4	145.6
	社 会	地図を読む、社会の人々と暮らし 政治と選挙等	36.4		36.4		35.4	
	数 学	生活で用いる簡単な加減算、図形、数量関係等	72.6		72.6		71.6	
	理 科	季節の移りかわりと生き物、暮らしの中の科学等	36.7		36.7		36.7	
	音 楽	歌唱、即興演奏、合奏、鑑賞等	37.8	37.8	37.8	37.8	36.8	36.8
	美 術	描画、貼り絵、造形、染織、ICT機器を用いた表現等	72.7	72.7	72.7	72.7	72.7	72.7
	保健体育	障がい者スポーツ競技、パラスポーツ、ハンドサッカー、身体の発育発達、健康保持について、がん教育等	73.0	73.0	73.0	73.0	72.0	72.0
	職業・家庭	将来の生活に必要な知識や技術を作業的な活動を通して学ぶ、調理等	37.0		37.0		35.9	
	外国語(英語)	外国語による挨拶、会話、簡単な単語の理解、表現等(各教科等を合わせた指導で行う)						
小 計			437.6	330.2	437.6	330.2	431.5	327.1

② 道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

		内 容	学年別授業時数					
			1(知的)	1(自活)	2(知的)	2(自活)	3(知的)	3(自活)
道 徳 科		集団生活におけるマナー、相手に対する思いやりについて等(各教科等を合わせた指導で行う)						
総合的な学習の時間(総合)		進路学習と関連する学習、交流等 ICT機器を用いた自分の居住する地域の情報収集等	36.5	自立活動に替えて行う。	36.5	自立活動に替えて行う。	36.5	自立活動に替えて行う。
特別活動(学級活動)		学級の係分担、学級集団作り、季節行事の企画等	36.7	36.7	36.7	36.7	36.6	36.6
自立活動		健康・安全に過ごす意識作り 四肢・体幹の変形・拘縮予防 運動動作の習得・改善	235.7	412.4	237.5	414.2	231.4	405.1
小 計			308.9	449.1	310.7	450.9	304.5	441.7

③ 各教科等を合わせた指導

		内 容	学年別授業時数					
			1(知的)	1(自活)	2(知的)	2(自活)	3(知的)	3(自活)
日常生活の指導		基本的生活習慣、身辺処理等 給食の準備・片づけの確立等	191.0	191.0	192.9	192.9	189.7	189.7
生活単元学習		行事の事前・事後学習、季節に応じた活動、生活を題材にした簡単な劇等	37.0	74.2	38.0	75.2	36.0	73.2
作 業 学 習		生活に役立つ物作り、ICT機器を用いた制作等	70.0		70.0		70.0	
小 計			298.0	265.2	300.9	268.1	295.7	262.9

年間総授業時数 (①+②+③)			学年別授業時数					
			1(知的)	1(自活)	2(知的)	2(自活)	3(知的)	3(自活)
			1044.5	1044.5	1049.2	1049.2	1031.7	1031.7

各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動及び自立活動等の週当たりの授業時数配当表

学校名	町田の丘学園	課程	高等部 準ずる教育課程	科 コース	普通科(令和8年度入学生)							
各教科 ・科目	学年 類型 必履修・選択	標準 単 位 数	1 年			2 年			3 年			*科目ご との履修 単位総数
			進学文系									
			必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	
国 語	現 代 の 国 語	2	2									2
	言 語 文 化	2	2									2
	論 理 国 語	4					2			2		4
	文 学 国 語	4										0
	国 語 表 現	4										0
	古 典 探 究	4					2			2		4
地 理 歴 史	地 理 総 合	2	▽ 2			▼ 2						2
	地 理 探 究	3								◇ 3		0～3
	歴 史 総 合	2	▽ 2			▼ 2						2
	日 本 史 探 究	3								◇ 3		0～3
	世 界 史 探 究	3								◇ 3		0～3
公 民	公 共	2	2									2
	倫 理	2									※ 2	0～2
	政 治 ・ 経 済	2						○ 2				0～2
数 学	数 学 I	3	3									3
	数 学 II	4										0
	数 学 III	3										0
	数 学 A	2					2					2
	数 学 B	2										0
	数 学 C	2										0
理 科	科学と人間生活	2	2									2
	物 理 基 礎	2				● 2		○ 2				0～2
	物 理	4										0
	化 学 基 礎	2				● 2		○ 2				0～2
	化 学	4										0
	生 物 基 礎	2				● 2		○ 2				0～2
	生 物	4										0
	地 学 基 礎	2										0
地 学	4										0	
保 健 体 育	体 育	7～8	2			2			3			7
	保 健	2	1			1						2
芸 術	音 楽 I	2	☆ 2				★ 2					2
	音 楽 II	2								◆ 2		0～2
	音 楽 III	2										0
	美 術 I	2	☆ 2				★ 2					2
	美 術 II	2								◆ 2		0～2
	美 術 III	2										0
	工 芸 I	2										0
	工 芸 II	2										0
	工 芸 III	2										0
	書 道 I	2										0
	書 道 II	2										0
	書 道 III	2										0

学校名		町田の丘学園		課程		高等部 準ずる教育課程			科 コース		普通科(令和8年度入学生)		
各教科 ・科目	学年 類型 必修・選択	単位 標準 数	1 年			2 年			3 年			*科目ご との履修 単位総数	
			進学文系										
			必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3									3	
	英語コミュニケーションⅡ	4					4					4	
	英語コミュニケーションⅢ	4								4		4	
	論理・表現Ⅰ	2					2					2	
	論理・表現Ⅱ	2								2		2	
	論理・表現Ⅲ	2										0	
家庭	家庭基礎	2	2									2	
	家庭総合	4										0	
情報	情報Ⅰ	2	2									2	
	情報Ⅱ	2										0	
理数	理数探究基礎	1										0	
	理数探究	2～5										0	
普通教科・科目履修単位数計			25			23～25			18～20			66～70	
学校 設定	産業社会と人間			1			1			2		4	
	ICT 演習							○ 2			△ 2	0～4	
	小論文演習										△ 2	0～2	
	キャリア演習							○ 2			△ 2	0～4	
専門教科・科目履修単位数計			1			1～3			4～6			6～10	
総合的な探究の時間		3～6	1			1			1			3	
ホームルーム活動			1			1			1			3	
自立活動			2			2			2			6	
生徒一人当たりの履修単位数計			30			30			30			90	
備 考		ア 1単位時間50分 イ 選択教科・科目 ・▽の中から1科目選択する。 ・▼の中から1科目選択する。※1年次に履修した科目を除く。 ・☆の中から1科目選択する。 ・★の中から1科目選択する。※1年次に履修した科目を除く。 ・◆の中から1科目選択する。 ・●の中から1科目選択する。 ・○の中から3科目選択する。○の専門科目については2単位まで選択できる。理科の●と○は重複しない科目より選択する。 ・※倫理は政治経済を選択する場合は必修とする。 ・◇の中から1科目選択する。 ・△の中から6単位選択する(倫理を履修する場合は4単位選択する)。 ウ 特別活動 （i）ホームルーム （ii）生徒会活動 （iii）学校行事 エ その他											

各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動及び自立活動等の週当たりの授業時数配当表

学校名		町田の丘学園		課程	高等部 準ずる教育課程			科 コース	普通科(令和8年度入学生)				
各教科 ・科目		学年 類型 必修・選択	標準 単位 数	1 年			2 年			3 年			*科目ご との履修 単位総数
				進学理系									
				必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	
国 語	現 代 の 国 語	2	2									2	
	言 語 文 化	2	2									2	
	論 理 国 語	4					2			2		4	
	文 学 国 語	4										0	
	国 語 表 現	4										0	
	古 典 探 究	4										0	
地 理 歴 史	地 理 総 合	2	▽ 2			▼ 2						2	
	地 理 探 究	3										0	
	歴 史 総 合	2	▽ 2			▼ 2						2	
	日 本 史 探 究	3										0	
	世 界 史 探 究	3										0	
公 民	公 共	2	2									2	
	倫 理	2									□ 2	0～2	
	政 治 ・ 経 済	2						○ 2				0～2	
数 学	数 学 I	3	3									3	
	数 学 II	4					4					4	
	数 学 III	3									□ 3	0～3	
	数 学 A	2					2					2	
	数 学 B	2								2		2	
	数 学 C	2									□ 2	0～2	
理 科	科学と人間生活	2	2									2	
	物 理 基 礎	2				■ 2						0～2	
	物 理	4								△ 4	□ 4	0～4	
	化 学 基 礎	2				■ 2						0～2	
	化 学	4								△ 4	□ 4	0～4	
	生 物 基 礎	2				■ 2						0～2	
	生 物	4								△ 4	□ 4	0～4	
	地 学 基 礎	2										0	
保 健 体 育	地 学	4										0	
	体 育	7～8	2			2			3			7	
芸 術	保 健	2	1			1						2	
	音 楽 I	2	☆ 2				★ 2					2	
	音 楽 II	2								◆ 2		0～2	
	音 楽 III	2										0	
	美 術 I	2	☆ 2				★ 2					2	
	美 術 II	2								◆ 2		0～2	
	美 術 III	2										0	
	工 芸 I	2										0	
	工 芸 II	2										0	
	工 芸 III	2										0	
	書 道 I	2										0	
	書 道 II	2										0	
	書 道 III	2										0	

学校名		町田の丘学園		課程		高等部 準ずる教育課程			科 コース		普通科(令和8年度入学生)		
各教科 ・科目	学年 類型 必修・選択	単位 標準 数	1 年			2 年			3 年			*科目ご との履修 単位総数	
			進学理系										
			必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3										3
	英語コミュニケーションⅡ	4					4						4
	英語コミュニケーションⅢ	4											0
	論理・表現Ⅰ	2								2			2
	論理・表現Ⅱ	2											0
	論理・表現Ⅲ	2											0
家庭	家庭基礎	2	2										2
	家庭総合	4											0
情報	情報Ⅰ	2	2										2
	情報Ⅱ	2											0
理数	理数探究基礎	1											0
	理数探究	2～5											0
普通教科・科目履修単位数計			25			23～25			17～23			65～73	
学校 設定	産業社会と人間			1			1			1			3
	ICT 演習							○ 2				□ 2	0～4
	小論文演習											□ 3	0～3
	キャリア演習							○ 2				□ 3	0～5
専門教科・科目履修単位数計			1			1～3			1～7			3～11	
総合的な探究の時間			3～6	1		1			1			3	
ホームルーム活動				1		1			1			3	
自立活動				2		2			2			6	
生徒一人当たりの履修単位数計			30			30			30			90	
備 考		ア 1単位時間50分 イ 選択教科・科目 ・▽の中から1科目選択する。 ・▼の中から1科目選択する。※1年次に履修した科目を除く。 ・☆の中から1科目選択する。 ・★の中から1科目選択する。※1年次に履修した科目を除く。 ・◆の中から1科目選択する。 ・■の中から2科目選択する。 ・○の中から1科目選択する。 ・△の中から1科目選択する。ただし、2年次に基礎科目を履修した科目に限る。 ・□の中から10単位選択する。専門科目については6単位まで選択できる。理科については基礎科目を履修した科目に限る。 ウ 特別活動 （i）ホームルーム （ii）生徒会活動 （iii）学校行事 エ その他											

各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動及び自立活動等の週当たりの授業時数配当表

学校名	町田の丘学園		課程	高等部 準ずる教育課程			科 コース	普通科(令和8年度入学生)					
各教科 ・科目	学年 類型 必修・選択	標準 単位 数	1 年			2 年			3 年			*科目ご との履修 単位総数	
			総合ビジネス										
			必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択		
国 語	現 代 の 国 語	2	2									2	
	言 語 文 化	2	2									2	
	論 理 国 語	4					2			2		4	
	文 学 国 語	4										0	
	国 語 表 現	4										0	
	古 典 探 究	4										0	
地 理 歴 史	地 理 総 合	2	▽ 2			▼ 2						2	
	地 理 探 究	3										0	
	歴 史 総 合	2	▽ 2			▼ 2						2	
	日 本 史 探 究	3										0	
	世 界 史 探 究	3										0	
公 民	公 共	2	2									2	
	倫 理	2										0	
	政 治 ・ 経 済	2										0	
数 学	数 学 I	3	3									3	
	数 学 II	4										0	
	数 学 III	3										0	
	数 学 A	2										0	
	数 学 B	2										0	
	数 学 C	2										0	
理 科	科学と人間生活	2	2									2	
	物 理 基 礎	2				◇ 2					○ 2	0～2	
	物 理	4										0	
	化 学 基 礎	2				◇ 2					○ 2	0～2	
	化 学	4										0	
	生 物 基 礎	2				◇ 2					○ 2	0～2	
	生 物	4										0	
	地 学 基 礎	2										0	
保 健 体 育	地 学	4										0	
	体 育	7～8	2			2			3			7	
芸 術	保 健	2	1			1						2	
	音 楽 I	2	☆ 2				★ 2					2	
	音 楽 II	2								◆ 2		0～2	
	音 楽 III	2										0	
	美 術 I	2	☆ 2				★ 2					2	
	美 術 II	2								◆ 2		0～2	
	美 術 III	2										0	
	工 芸 I	2										0	
	工 芸 II	2										0	
	工 芸 III	2										0	
	書 道 I	2										0	
	書 道 II	2										0	
	書 道 III	2										0	

学校名		町田の丘学園		課程	高等部 準ずる教育課程			科	コース			普通科(令和8年度入学生)		
各教科 ・科目	学年	単 位 標 準 数	1 年			2 年			3 年			*科目ご との履修 単位総数		
	類型		総合ビジネス											
	必履修・選択		必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3										3	
	英語コミュニケーションⅡ	4				4							4	
	英語コミュニケーションⅢ	4											0	
	論理・表現Ⅰ	2								2			2	
	論理・表現Ⅱ	2											0	
	論理・表現Ⅲ	2											0	
家庭	家庭基礎	2	2										2	
	家庭総合	4				3				2			5	
情報	情報Ⅰ	2	2										2	
	情報Ⅱ	2											0	
理数	理数探究基礎	1											0	
	理数探究	2～5											0	
数学	数学演習						2			4			6	
普通教科・科目履修単位数計			25			20			17			62		
学校 設定	産業社会と人間			1		1			1			3		
	ICT演習					2			4			6		
	キャリア演習								2			2		
	作業演習					3			2			5		
専門教科・科目履修単位数計			1			6			9			16		
総合的な探究の時間		3～6	1			1			1			3		
ホームルーム活動			1			1			1			3		
自立活動			2			2			2			6		
生徒一人当たりの履修単位数計			30			30			30			90		
備 考		ア 1 単位時間50分 イ 選択教科・科目 ・▽の中から1科目選択する。 ・▼の中から1科目選択する。※1年次に履修した科目を除く。 ・☆の中から1科目選択する。 ・★の中から1科目選択する。※1年次に履修した科目を除く。 ・◆の中から1科目選択する。 ・◇の中から1科目選択する。 ・○の中から1科目選択する（◇と重複しない科目とする）。 ウ 特別活動 （i）ホームルーム （ii）生徒会活動 （iii）学校行事 エ その他												

学校名	東京都立 町田の丘学園	課程	高等部 知的障害を併せ有する生徒の教育課程 自立活動を主とする教育課程
-----	-------------	----	--

年間授業時数の配当

① 各教科・科目

内容・学年 各教科		科目・内容	学 年 別 授 業 時 数					
			1年(知的)	1年(自立)	2年(知的)	2年(自立)	3年(知的)	3年(自立)
知的障害特別支援学校の各教科	国 語	短い文章の読解、慣用句、日記や作文、読書、感想の発表等	66.7	140.7	66.6	140.7	66.7	140.7
	社 会	日本の地理と歴史、政治、経済、文化などの基本的な事柄等	35.4		35.4		35.4	
	数 学	数量の処理や計算についての、生活の中での活用、金銭や時計・暦の学習等	66.5		66.5		66.5	
	理 科	自然の事物や現象、生物や環境についての理解等	35.0		35.0		35.0	
	音 楽	歌唱、器楽演奏、リズムダンス、音楽鑑賞等	70.9	70.0	70.4	70.0	70.9	70.0
	美 術	描画、版画、陶芸、工作、映像による作品鑑賞、メディア制作等	72.2	73.9	70.2	71.9	70.2	70.9
	保健体育	様々なスポーツ、マット運動、短距離走（車いす手こぎ、電動車いす等）、健康な生活等	70.4	70.4	70.4	70.4	70.4	70.4
	職 業	働くことの意義、実習および作業、職場で必要な知識・技能および態度等	126.7		119.3		121.2	
	家 庭	衣食住や消費生活等に関する実習や体験的な活動を含めた学習等	70.1		70.1		70.1	
	外 国 語	英語の簡単な会話、挨拶やゲーム等	35.0		35.0		35.0	
	情 報	コンピュータの操作、知識等	35.7		35.7		35.7	
学校設定数								
小 計			684.6	355	674.6	353	677.1	352

② 道徳・道徳科、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間、特別活動、自立活動

内容・学年		内 容	学 年 別 授 業 時 数					
			1年(知的)	1年(自立)	2年(知的)	2年(自立)	3年(知的)	3年(自立)
道徳・道徳科		日々の学校生活の中で自覚を促し様々な人との関わりの中で心情と態度を養い豊かな人間性を育て、各教科等を合わせた指導を中心に道徳的心情を育む学習等						
総合的な探究の時間（総合）		自分が住む地域、日本、国際理解等のテーマに対して、自らの将来に照らし合わせながら、考え行動する活動等（具体的な課題は生徒が設定する）	38.9	自立活動で扱う	36.9	自立活動で扱う	38.9	自立活動で扱う
特別活動（ホームルーム活動）		学級内での係活動、クラス活動の立案と実施、生活年齢が同じ生徒とのコミュニケーション等	37.5	37.5	38.4	38.4	38.4	38.4
自 立 活 動		健康の保持増進、環境の把握能力の向上、運動能力の向上と動作の獲得、コミュニケーション能力の向上等	101.8	402.8	101.8	403.3	101.8	403.4
小 計			178.2	440.3	177.1	441.7	179.1	441.8

③ 各教科等を合わせた指導

内容・学年		内 容	学 年 別 授 業 時 数					
			1年(知的)	1年(自立)	2年(知的)	2年(自立)	3年(知的)	3年(自立)
日常生活の指導			120.2	202.4	121.1	201.8	120.1	202.3
生活単元学習		学校行事と関連付けた単元学習、季節やその行事と関連付けた単元学習、消費者教育など生活上の課題を基にした単元学習、卒業後の余暇を豊かにする単元学習等		86.2		77.2		81.2
作業学習		主に手指を利用した制作活動やパソコンなどのICT機器を利用してデータ作成などを通して、まわりと協力しながら働く力と生活する力を養うための活動	101.7		101.7		101.8	
小 計			221.9	288.6	222.8	279	221.9	283.5

年間総授業時数 (①+②+③)		学 年 別 授 業 時 数					
		1年(知的)	1年(自立)	2年(知的)	2年(自立)	3年(知的)	3年(自立)
		1084.7	1083.9	1074.5	1073.7	1078.1	1077.3

知的障害教育部門 小学部 重度重複学級の授業時数の配当

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、特別活動、自立活動等の年間授業時数

① 各教科

内容・学年 教科	内 容	学年別授業時数																	
		1(知的)	1(自閉)	1(重度)	2(知的)	2(自閉)	2(重度)	3(知的)	3(自閉)	3(重度)	4(知的)	4(自閉)	4(重度)	5(知的)	5(自閉)	5(重度)	6(知的)	6(自閉)	6(重度)
生 活	基本的生活習慣の確立、手伝い、仕事、地域の様子、公共施設の利用、植物の栽培、ものの仕組みと働き（重さ・風・ゴムの力）等。 ＜普通、自閉症学級：第1学年から第4学年及び重度重複学級全学年＞上記内容を各教科等を含ませた指導の中で指導する。 ＜普通、自閉症学級：第5学年及び第6学年＞上記内容のうち、公共施設の利用、自然との触れ合い、季節の変化、植物の栽培、ものの仕組みと働きについては、生活科の時間の指導を設定して取り扱う。その他の内容は各教科等を含ませた指導の中で指導する。													110	110		106	106	
国 語	聞く・見る、身体模倣、発声・発語、語彙学習、文字学習、読書活動 等。	144.9	71.7	71.7	146.8	72.4	72.4	147.5	73.1	73.1	145.5	70.7	70.7	146.5	71.7	71.7	142.7	68.7	68.7
算 数	同一性の保持、追視、弁別、対応、分類、位置、数唱、比較、数数、形、構成 等。	69.7	69.7	69.7	71.9	71.9	71.9	72.7	72.7	72.7	70.8	70.8	70.8	70.9	70.9	70.9	70.7	70.7	70.7
音 楽	音楽活動、身体表現、歌唱、器楽（和太鼓等日本の伝統・文化を含む）、鑑賞 等。	37	37	37	37.7	37.7	37.7	37	37	37	33	33	33	33.8	33.8	33.8	37	37	37
図画工作	造形活動・描画・版画等の表現活動、身近な素材や材料・用具の扱い、鑑賞 等。	34	34	34	35.8	35.8	35.8	64	64	64	68	68	68	68	68	68	66	66	66
体 育	体づくり運動、器械・器具・用具を使った運動、表現活動、水中運動、集団行動の約束やルールの順守 等。健康保持、身の回りの清潔について等。	174.1	174.1	67	180.5	180.5	71.6	179.5	179.5	70.6	179.5	179.5	70	180.4	180.4	71	176.3	176.3	69.2
小 計		459.7	386.5	279.4	472.7	398.3	289.4	500.7	426.3	317.4	496.8	422	312.5	609.6	534.8	315.4	598.7	524.7	311.6

② 道徳科、外国語活動、特別活動、自立活動

	内 容	学年別授業時数																	
		1(知的)	1(自閉)	1(重度)	2(知的)	2(自閉)	2(重度)	3(知的)	3(自閉)	3(重度)	4(知的)	4(自閉)	4(重度)	5(知的)	5(自閉)	5(重度)	6(知的)	6(自閉)	6(重度)
道 徳 科	基本的生活習慣を身につけること、社会生活上のきまりを守る等、教育活動全体を通して指導する。各教科等を含ませた指導を中心に行う。																		
外国語活動	歌や挨拶などの英語表現に慣れ親しめるような活動に取り組む。外国人英語等教育補助員を活用し、生活単元学習の指導の中で扱う。																		
特別活動	儀式や文化祭などの全校行事、校外学習などの学部行事、地域小学校との交流を目的とした集會等、各教科等を含ませた指導を中心に行う。																		
自立活動	健康状態の維持・改善、日常的な基本動作習得や心理的な安定など生徒の実態に合わせた運動を設定した時間に行う。人間関係の形成、環境の把握、コミュニケーションに必要な知識、技能、態度及び習慣の形成に関しては各教科等を含ませた指導を中心に行う。普通、自閉症学級：各教科等を含ませた指導を中心に行う。重度重複学級：自立活動の時間を設定。			180.3			183.3			183.3			184.3			184.2			181.1
小 計		0	0	180.3	0	0	183.3	0	0	183.3	0	0	184.3	0	0	184.2	0	0	181.1

③ 各教科等を含ませた指導

	内 容	学年別授業時数																	
		1(知的)	1(自閉)	1(重度)	2(知的)	2(自閉)	2(重度)	3(知的)	3(自閉)	3(重度)	4(知的)	4(自閉)	4(重度)	5(知的)	5(自閉)	5(重度)	6(知的)	6(自閉)	6(重度)
日常生活の指導	基本的生活習慣の確立や身辺自立を目指す。荷物整理、衣服の着脱、排泄、係活動、朝の会・帰りの会、摂食、清掃 等。	307.2	307.2	307.2	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	310.6	307.4	307.4	307.4
遊びの指導																			
生活単元学習	校外学習等の学校行事と関連付けた単元学習、季節ごとの伝統行事や植物と関連付けた単元学習、交通ルールや公共施設の利用、買い物など生活上の課題を基にした単元学習、遊ぶ活動を主とした単元学習、働くことを主とした単元学習。学部内の交流を目的とした単元学習。外国の文化に触れる単元学習。	164	164	164	161.8	161.8	161.8	195.8	195.8	195.8	232.3	232.3	232.3	119.4	119.4	229.4	114	114	220
社会性の学習			73.2			74.4			74.4			74.8			74.8			74	
小 計		471.2	544.4	471.2	472.4	546.8	472.4	506.4	580.8	506.4	542.9	617.7	542.9	430	504.8	540	421.4	495.4	527.4
年間総授業時数 ①+②+③		学年別授業時数																	
		1(知的)	1(自閉)	1(重度)	2(知的)	2(自閉)	2(重度)	3(知的)	3(自閉)	3(重度)	4(知的)	4(自閉)	4(重度)	5(知的)	5(自閉)	5(重度)	6(知的)	6(自閉)	6(重度)
		930.9	930.9	930.9	945.1	945.1	945.1	1007.1	1007.1	1007.1	1039.7	1039.7	1039.7	1039.6	1039.6	1039.6	1020.1	1020.1	1020.1

知的障害教育部門 中学部の授業時数の配当

(1) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動等の年間授業時数

① 各教科

内容・学年		学年別授業時数								
教科	内 容	1 (普通)	1(自閉)	1(重重)	2 (普通)	2(自閉)	2(重重)	3 (普通)	3(自閉)	3(重重)
必修教科	国語	70.1	70.1	70.1	70.4	70.4	70.4	68.1	68.1	68.1
	社会	34	34		34	34		32	32	
	数学	70	70	70	69.7	69.7	69.7	69	69	69
	理科	34	34		34	34		32	32	
	音楽	36	36	36	35	35	35	34	34	34
	美術	67.9	67.9	67.9	67	67	67	67.9	67.9	67.9
	保健体育	156	156	74.8	150.7	150.7	69.8	149.2	149.2	68.8
	職業・家庭	68.8	68.8	68.8	68.8	68.8	68.8	68.8	68.8	68.8
	外国語 (英語)									
選択教科										
小 計		536.8	536.8	387.6	529.6	529.6	380.7	521	521	376.6

② 道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

内 容		学年別授業時数								
		1 (普通)	1(自閉)	1(重重)	2 (普通)	2(自閉)	2(重重)	3 (普通)	3(自閉)	3(重重)
道 徳 科	善悪の判断、真・善・美に関する感性、友情・協力、規範意識、公衆道徳 各教科等を合わせた指導を中心に行う。									
総合的な学習の時間	地域の中学校との交流、社会貢献活動、販売学習など、地域とのつながりや働くことを体験し、自らの将来について考える活動。	24.4	24.4	24.4	24.4	24.4	24.4	24.4	24.4	24.4
特 別 活 動	儀式・文化祭・体育祭・避難訓練、校外学習等。各教科等を合わせた指導を中心に行う。									
自立活動	健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションに必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。各教科等を合わせた指導を中心に行う。			81.2			80.9			79.4
小 計		24.4	24.4	105.6	24.4	24.4	105.3	24.4	24.4	103.8

③ 各教科等を合わせた指導

内 容		学年別授業時数								
		1 (普通)	1(自閉)	1(重重)	2 (普通)	2(自閉)	2(重重)	3 (普通)	3(自閉)	3(重重)
日常生活の指導	基本的生活習慣の確立を目指した着替え・排せつ・持ち物管理等、朝の会（出欠席・一日の予定の確認等）、係活動、給食の下膳・教室等の清掃、帰りの会（一日の反省、翌日の見通し等）等	271.3	271.3	271.3	272.8	272.8	272.8	267.6	267.6	267.6
生活単元学習	行事単元（体育祭、校外学習、まちだ祭）、植物の観察と栽培、季節単元、卒業単元（卒業制作、卒業式等）、英語圏の生活（外国語と文化）、心と体の健康、公共交通機関の利用等	112.3	42.3	180.3	122.3	52.3	190.3	113.9	43.9	178.9
作業学習	事務作業（マウスパッドの製作、プリント補充）、清掃作業（モップ掛け・ゴミ拾い）、リサイクル作業（廃品回収・洗浄・リサイクル製品づくり）等	92.8	92.8	92.8	93	93	93	91.8	91.8	91.8
社会性の学習			70			70			70	
小 計		476.4	476.4	544.4	488.1	488.1	556.1	473.3	473.3	538.3

年間総授業時数 (①+②+③)		学年別授業時数								
		1 (普通)	1(自閉)	1(重重)	2 (普通)	2(自閉)	2(重重)	3 (普通)	3(自閉)	3(重重)
		1037.6	1037.6	1037.6	1042.1	1042.1	1042.1	1018.7	1018.7	1018.7

学校名	東京都立町田の丘学園	学科	高等部	普通科	普通学級
-----	------------	----	-----	-----	------

年間授業時数の配当

① 各教科

内容・学年別 授業時数 各教科		科目・内容	学年別授業時数							
			1年	1年(重重)	2年(I類)	2年(II類)	2年(重重)	3年(I類)	3年(II類)	3年(重重)
各教科	国語	文字の読み書き、音読、文章の理解、作文、詩作、漢字検定、日記、手紙、発表等	67.4	67.4	51.8	91.8	51.8	45.4	103.4	45.4
	社会	日本の地理、歴史、現代社会等 (※「各教科等を合わせた指導」で取り扱う)	35.5		33.8	33.8		33.8	33.8	
	数学	計算、大小長短の比較、計測、金銭、時計等	68.0	68	50.0	107.5	50	45.4	83.9	45.4
	理科	季節、気候、生物、物質の変化等 (※「各教科等を合わせた指導」で取り扱う)	33.0		33.9	33.9		34.6	34.6	
	音楽	歌唱、合奏、リズム、身体表現、鑑賞等	69.3	34.7	65.4	33.7	34.7	70.3	35	35
	美術	描画、版画、立体造形、陶芸等	65.9	65.9	64.9	64.9	64.9	66.0	66	66
	保健体育	体操、球技、陸上競技、水泳、保健指導(健康な体と病気)等	66.0	66	67.0	67	67	64.0	64	64
	職業	卒業後の生活、進路先見学、ビジネスマナー、清掃、実習報告会、軽作業等	66.0	66	34.4	130.9	34.4	30.2	126.7	30.2
	家庭	被服、調理、住居・環境、家庭生活等	70.0	70	67.5	67.5	67.5	65.6	65.6	65.6
	外国語	アルファベット、英会話、外国語の歌、ゲーム等 (※「各教科等を合わせた指導」で取り扱う)	33.3		33.5	33.5		34.9	34.9	
	情報	パソコン操作、パソコン検定、情報セキュリティ SNS のマナー等(※「各教科等を合わせた指導」で取り扱う)	33.0		33.9	64.6		33.5	68.8	
学校 設定 教科										
小計			607.4	438.0	536.1	729.1	370.3	523.7	716.7	351.6

② 道徳・道徳科、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動

内容・学年別 授業時数		内 容	学年別授業時数							
			1年	1年(重重)	2年(I類)	2年(II類)	2年(重重)	3年(I類)	3年(II類)	3年(重重)
道徳・道徳科		基本的生活習慣、自主自立、人権、異性の理解、生命尊重、社会生活上のきまり、勤労・奉仕等 各教科等を合わせた指導を中心に教育活動全体で扱う。								
総合的な探究の時間 (総合)		校外学習、公共機関の利用法、マナー、調べ学習等の学習内容を各教科等の時間で扱う。(具体的な課題は生徒が設定する)	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35
特別活動 (ホームルーム活動)		教室整備、係活動、目標の振り返り等	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.1	35.1	35.1
自立活動		健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションに必要な知識、技能、態度を養う。 重度重複学級：自立活動の時間を設定。 重度重複以外の学級：各教科等を合わせた指導を中心に学校教育教育活動全体で扱う。		173.7			167			178.4
小計			70.4	244.1	70.4	70.4	237.4	70.1	70.1	248.5

③ 各教科等を合わせた指導

内容・学年別 授業時数 指導の形態			学年別授業時数							
			1年	1年(重重)	2年(I類)	2年(II類)	2年(重重)	3年(I類)	3年(II類)	3年(重重)
日常生活の指導		基本的生活習慣、コミュニケーションのとり方、係活動、掃除、朝や帰りの会等	194.5	194.5	193.0		193	193.0		193
生活単元学習		学校行事と関連付けた単元学習、季節やその行事と関連付けた単元学習、買い物など生活上の課題を基にした単元学習、卒後の余暇を豊かにする単元学習等		67			67.7			67.4
作業学習		フィールドワーク、紙工、リサイクル、ハンドワーク、製菓、環境整備、事務、産業現場等における実習、就業体験 等	211.3	140	266.3	266.3	197.4	281.4	281.4	207.7
小計			405.8	401.5	459.3	266.3	458.1	474.4	281.4	468.1

年間総授業時数 (①+②+③)			学年別授業時数							
			1年	1年(重重)	2年(I類)	2年(II類)	2年(重重)	3年(I類)	3年(II類)	3年(重重)
			1083.6	1083.6	1065.8	1065.8	1065.8	1068.2	1068.2	1068.2

4 令和8年度 年間行事予定

曜 月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日 行事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1日	水		金	現場実習始(AB高)※ 内科検診(B小2B高2)	月	水泳指導始～7/16 視聴力検査(A全)	水	保護者会(A高3B中3)	月		火	始業式
2日	木		土		火		木	保護者会(B小) 移動教室説明会(B小6)	日		水	給食始
3日	金		日	憲法記念日	水	視力検査(B小低)	金	高等部説明会(AB)	月		木	移動教室説明会(A小56)
4日	土		月	みどりの日	木	修学旅行(B中3) 社会見学(A小12)	土		火		金	地域と連携した防災訓練
5日	日	春季休業終	火	こどもの日	金	修学旅行(B中3)	日		水		土	
6日	月	始業式	水	休日	土		月	保護者会(A高2) 授業参観(A中) 進路面談(B高23)～10日	木		日	
7日	火	入学式(小中)	木		日		火	授業参観(A中) 地域施設交流会(A高)	金		月	
8日	水	入学式(高)	金		月	視力検査(B中2)	水	保護者会(A中)	土		火	
9日	木	給食始(小2～高3)	土		火	視力検査(B中1)	木	保護者会(B高2)※1 保護者会(A高1)	日		水	
10日	金	給食小1始	日		水	視力検査(B中3)	金	保護者会(A小)	月	学校閉庁日	木	
11日	土		月	個別面談14日まで	木	社会見学(A中) 歯科検診(B小中)	土		火	山の日	金	
12日	日		火		金	聴力検査(B中1) 尿検査予備日	日		水	学校閉庁日	土	
13日	月	尿検査1次	水		土		月		木	学校閉庁日	日	
14日	火	保護者会(AB高3) 尿検査1次(予備)	木	眼科検診(A全B小)	日		火		金	学校閉庁日	月	
15日	水	全校保護者会※ 保護者会(A小中高1B小高1)	金	内科検診(B小3B高3)	月	視力検査(B高3)	水	セーフティ教室	土		火	
16日	木	保護者会(A高2) 耳鼻科検診(A全B高)	土		火	視力検査(B高2)	木	給食終	日		水	インターシップ(A中2) 始 (～9/22)
17日	金	内科検診(A小1A中高)	日		水	宿泊前検診(A中3) 聴力検査(B小5)	金	終業式	月	学校閉庁日	木	社会見学(A高CG)
18日	土		月	インターシップ(A中2) 始 (～5/22)	木	修学旅行(AB小6) 視力検査(B高1)	土	夏季休業始	火		金	社会見学(B高2) 宿泊前検診(A高2) マラソン前検診(B中1)
19日	日		火	内科検診(B小6A小高)	金	聴力検査(B中3)	日		水		土	
20日	月	内科検診(A小2B高1)	水		土		月	海の日	木		日	
21日	火	保護者会(B中12) 内科検診(B小1B中12)	木	眼科検診(B中高)尿検2次 授業参観(B中高) 社会見学(A小345B小45)	日		火		金		月	敬老の日
22日	水	保護者会(B中3)	金	授業参観(B中高) 尿検査2次(予備)	月	聴力検査(B高1)	水		土		火	国民の休日
23日	木	保護者会(B高2) 耳鼻科検診(B小B中)	土		火	聴力検査(B高3)	木		日		水	秋分の日
24日	金	保護者会(医ケア)	日		水	視力検査(B小高)	金		月		木	社会見学(A高JG) インターシップ(A中2) 始 (～9/28)
25日	土		月	社会体験学習(A高CG) 授業参観(小) 進路学習(A高) 始～5/29	木	修学旅行(A中3)	土		火		金	マラソン前検診(B中2・3)
26日	日		火	授業参観(小) 社会体験学習(A高JG)	金	修学旅行(A中3) 授業参観(A高)	日		水		土	
27日	月		水	内科検診(B中3) ※2 社会人の話を聞く会(A高)	土		月		木		日	
28日	火	内科検診(A小3B小45)	木	社会見学(B小23) 歯科検診(A全B高)	日		火		金		月	授業参観(A自活)～10/16
29日	水	昭和の日	金	社会見学(B小1)	月	授業参観(A高) 聴力検査(B小低)	水		土		火	修学旅行(A高2)
30日	木	心臓結核検診(小中高1)	土		火	保護者会(B中12)	木		日		水	修学旅行(A高2)
31日			日				金		月	夏季休業終		
備考	※SB保護者会含む		※インターシップ含む ※2宿泊前検診兼ねる		17(水) 社会貢献活動(B中2) 18(木) 社会貢献活動(B中1)		※1 修学旅行説明会					

曜 月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日 行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1日	木	都民の日	日		火	授業参観(高)	金	元日	月	開校記念日	月	
2日	金	社会貢献活動(B中) 個別面談7日まで	月	進路面談始(B高3)～11/30	水	授業参観(小高)	土		火		火	保護者会(A小B中12)
3日	土		火	文化の日	木	授業参観(小A高)	日		水		水	保護者会(A中B中3)
4日	日		水	社会見学(B中2) 授業参観(A中)	金	授業参観(小)	月	学校閉庁日	木	一日入学(B中) B高1保護者会	木	新入生保護者説明会(高)
5日	月		木	授業参観(A中) 社会見学(A小12)	土		火		金	一日入学(A小中B小) 社会見学(B中1)	金	
6日	火		金	授業参観(A中)	日		水		土		土	
7日	水		土		月		木	冬季休業終	日		日	
8日	木	社会見学(A小34)	日		火	宿泊前検診(B高2)	金	始業式	月	個別面談12日まで 特体連バスケ(B高)	月	
9日	金	宿泊前検診(A小5・6)	月		水		土		火	特体連バスケ(B高)	火	
10日	土		火		木	顧書配布説明会(AB高)	日		水	校外学習(B高3) 保護者会(医ケア)	水	
11日	日		水		金	七国山小交流(B小34) ポッチャフェス(A高)	月	成人の日	木	建国記念日	木	
12日	月	スポーツの日	木	社会見学(A中BG) 社会見学(B中1)	土		火	給食始	金		金	現場実習終(AB高)
13日	火		金		日		水		土		土	
14日	水	移動教室(A小56)	土		月		木		日		日	
15日	木	移動教室(A小56) 社会見学(B小5)	日		火		金	社会貢献活動(B中)	月		月	
16日	金	保護者会(B高1)	月		水	修学旅行(B高2)	土		火		火	
17日	土		火		木	修学旅行(B高2)	日		水		水	
18日	日		水		金	修学旅行(B高2)	月		木	保護者会(B高3)	木	
19日	月	授業参観(B中)	木		土		火		金	校外学習(B中3)	金	卒業式(高)
20日	火	宿泊前検診(B小6)	金		日		水	行政手続説明会(高2)	土		土	
21日	水	学校公開(外部機関)	土	まちだ祭	月		木	市肢交流(A小中)	日		日	春分の日
22日	木	社会見学(A中1G B小低4)	日		火	グループ保護者会(A小)	金		月	全校保護者会 B小保護者会(学年別)	月	休日
23日	金	漢字検定	月	勤労感謝の日	水		土		火	天皇誕生日	火	
24日	土		火	振替休業日	木	給食終	日		水		水	卒業式(小中) 給食終
25日	日		水		金	終業式	月	作業体験(B小6)	木	保護者会(B高2)	木	修了式
26日	月		木		土	冬季休業始	火		金	社会見学(B中2) 社会見学(B高1)	金	春季休業始
27日	火	授業参観(B中)	金		日		水		土		土	
28日	水	移動教室(B小6) 授業参観(B中)	土		月		木	芸術鑑賞日	日		日	
29日	木	移動教室(B小6) マラソン大会(B中)	日		火		金				月	
30日	金	社会見学(A中2G)	月	授業参観(B高) 進路面談始(B高12) ～12/23	水		土				火	
31日	土				木		日				水	
備考							A高入学相談未定→A高は休業日になります。		B高入学相談未定→B高は休業日になります。			

5 使用教科書

- 下表は肢体不自由教育部門「準ずる課程」で使用する教科書として東京都教育委員会により採択された文部科学省検定済教科書です。

小学部

科目(種目)	発行者略称
国語	光村
書写	光村
社会	東書
地図	帝国
算数	東書
理科	教出
生活	教出
音楽	教芸
図画工作	開隆堂
家庭	開隆堂
保健	光文
英語	三省堂
道徳	東書

中学部

科目(種目)	発行者略称
国語	光村
書写	教出
社会(地理的分野)	帝国
社会(歴史的分野)	帝国
社会(公民的分野)	教出
地図	帝国
数学	東書
理科	大日本
音楽(一般)	教芸
音楽(器楽合奏)	教芸
美術	光村
保健体育	学研
技術・家庭(技術分野)	東書
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂
英語	光村
道徳	学研

高等部

教科名	教科書名	出版社
現代の国語	高等学校 新訂現代の国語	第一
言語文化	高等学校 言語文化	第一
論理国語	論理国語	大修館
古典探究	精選 古典探究	大修館
地理総合	わたしたちの地理総合 改訂版	山川
地理探究	新詳地理探究	帝国
歴史総合	歴史総合	東書
日本史探究	日本史探究	東書
世界史探究	世界史探究	東書
地図	新詳高等地図	帝国
公共	公共	東書
倫理	高等学校 新倫理	清水
政治・経済	政治・経済	東書
数学Ⅰ	改訂版 新数学Ⅰ 改訂版 新数学Ⅰ 解答編	東書
数学Ⅱ	新数学Ⅱ 新数学Ⅱ 解答編	東書
数学Ⅲ	数学Ⅲ Standard	東書
数学A	新数学A 新数学A 解答編	東書
数学B	数学B Standard	東書
数学C	数学C Standard	東書
科学と人間生活	改訂 科学と人間生活	東書
物理基礎	改訂 新編物理基礎	東書
物理	高等学校 物理	第一
化学基礎	改訂 新編化学基礎	東書
化学	新編 化学	数研
生物基礎	改訂 新編生物基礎	東書
生物	高等学校 生物	啓林館
保健体育	現代高等保健体育 改訂版	大修館
音楽Ⅰ	改訂版 ON! 1	友社
音楽Ⅱ	ON! 2	友社
美術Ⅰ	美術 1	光村
美術Ⅱ	美術 2	光村
英語コミュニケーションⅠ	VIST A English Communication I New Edition	三省堂
英語コミュニケーションⅡ	Amity English Communication II	開隆堂
英語コミュニケーションⅢ	MY WAY English Communication III	三省堂
論理・表現Ⅰ	VIST A Logic and Expression I	三省堂
論理・表現Ⅱ	Amity English Logic and Expression II	開隆堂
家庭基礎	家庭基礎 自立・共生・創造	東書
家庭総合	家庭総合 自立・共生・創造	東書
情報Ⅰ	高等学校 情報Ⅰ	第一

- 知的障害教育部門及び自立活動を主とする課程においては、児童・生徒の実態に応じて東京都教育委員会に採択された学校教育法附則第9条の規定による教科書（一般図書）を使用しています。

VI 運営組織等

10町養学第777号

平成11年3月25日

校 長 決 定

改正 令和8年4月1日 8町丘学第1号

東京都立町田の丘学園管理運営規程

第1 目的

この規程は、法令及び東京都教育委員会規則等の定めるところに従い、東京都立町田の丘学園（以下、「本校」という。）の管理運営に関し、必要な基本事項を定め、円滑かつ効果的な学校運営を推進することを目的とする。

第2 事案決定

本校における事案決定は、東京都立学校事案決定規程に基づき、原則として文書により行う。

第3 校長

校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4 副校長

- 1 副校長は、校長を助け、命を受けて校務をつかさどり、及び校務を整理する。
- 2 副校長は、校長の命を受け、所属職員（経営企画室の所属職員を除く。）を監督し、及び必要に応じて児童・生徒の教育をつかさどる。

第5 主幹教諭

- 1 主幹教諭は、校長及び副校長を助け、命を受けて校務の一部を整理し、並びに児童・生徒の教育をつかさどる。
- 2 主幹教諭は、担当する校務について、所属職員（経営企画室の所属職員を除く。）を監督する。

第6 指導教諭

指導教諭は、児童・生徒の教育をつかさどり、並びに教諭その他の職員に対して、教育指導の改善及び充実のために必要な指導及び助言を行う。

第7 主任教諭等

学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する主務教諭の職名は、主任教諭とする。

1 主任教諭

児童・生徒の教育をつかさどり、及び命を受けて学校の教育活動に関し教諭その他の職員間における総合的な調整を行う。

2 主任養護教諭

児童・生徒の養護をつかさどり、及び命を受けて学校の教育活動に関し教諭その他の職員間における総合的な調整を行う。

3 主任栄養教諭

児童・生徒の栄養の指導及び管理をつかさどり、並びに命を受けて学校の教育活動に関し教諭その他の職員間における総合的な調整を行う。

第8 経営企画室長

経営企画室長は、校長の命を受け、経営企画室の事務をつかさどり、経営企画室の所属職員を指揮監督する。

第9 校務分掌組織

校務に関する分掌組織は、次のとおりとする。その他、必要な分掌組織・係は校長が定める。

1 分掌部

教務部、研修研究部、情報教育部、進路指導部、相談支援部、保健給食部、生活指導部、医療的ケア部を置く。

2 教育部門及び学部

(1) 教育部門として肢体不自由教育部門（A部門）と知的障害教育部門（B部門）を置く。

(2) 各教育部門に小学部、中学部、高等部を置く。

3 教科

(1) 国語、算数、数学、外国語（英語）、生活、図画工作、芸術、美術、体育、保健体育、音楽、理科、社会、地理歴史、公民、技術・家庭、職業・家庭、職業、家庭、情報、学校設定教科（日本の伝統文化、産業社会と人間、ICT演習、数学演習、キャリアガイダンス、作業演習）、道徳、道徳科、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、外国語活動、特別活動、ホームルーム活動、自立活動、各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、社会性の学習、作業学習）

(2) 国語・算数・数学、外国語（英語）、生活・生活単元・理科・社会、図画工作・美術、音楽、保健体育、作業学習、職業・家庭、自立活動、社会性の学習、職業、情報に教科主任を置く。

4 企画調整会議

5 経営会議

6 職員会議

7 主幹会議

8 学部主任会

9 教科会

10 委員会

学校保健委員会、都立学校開放事業運営委員会、給食運営委員会（食材業者選定含む。）、省エネ委員会、防災教育推進委員会（学校危機管理委員会及び災害対策委員会を兼ねる。）、安全衛生委員会、教科書選定委員会、キャリア教育推進委員会、医療的ケア安全委員会、食物アレルギー対応委員会、学校いじめ対策委員会、学校サポートチーム会議、ホームページ管理運営委員会、ハラスメント委員会。

11 担当者会

まちだ祭担当者会

12 交流教育連絡協議会（特別支援学校に在籍する児童・生徒の理解教育の充実事業）

13 部活動の指導

教育活動の一環として部活動を設置し、適切に運営する。部活動に関する事項については、生活指導部の所掌とし、各部活動の指導業務は、当該部活動の指導を分掌する職員及び指導を委嘱された者が行う。

14 情報セキュリティ及び個人情報保護

情報セキュリティ及び個人情報保護に関する事項については、情報教育部の所掌とする。

15 その他

校長が必要と認めたときは、その他の分掌組織を置くことができる。

第10 経営企画室組織

経営企画室の事務は、庶務、経営及び施設その他の事務とする。

第1 1 企画調整会議

1 目的

企画調整会議は、校長の補助機関として、校長の学校運営方針に基づき、学校全体の業務に関する企画立案及び連絡調整、各分掌組織間の連絡調整、職員会議における議題の整理、その他校長が必要と認める事項を行い、円滑かつ効果的な学校運営を推進する。

2 構成員

校長、副校長、経営企画室長、4級職教諭、教務、生活指導、進路指導、保健の各主任、6学部主任、自立活動部主任、保健室代表養護教諭、で構成する。

3 学校運営連絡協議会協議委員の参加

校長が必要と認めたときは、企画調整会議に学校運営連絡協議会協議委員を参加させることができる。

4 開催

定例会は、原則として毎週1回開催する。

5 招集

校長が招集し、その運営を管理する。

6 その他

必要な事項は、校長が定める。

第1 2 経営会議

1 目的

経営会議は、学校経営上の課題について管理職、経営企画室長、主幹教諭が共通確認し、学校全体の業務の検討を行い、円滑かつ効果的な学校運営を推進する。

2 構成員

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭とする。ただし、校長は必要に応じて関係者に出席を求め意見を聞くことができる。

3 開催

定例会は原則毎月1回開催する。

4 招集

校長が招集し、その運営を管理する。

5 その他

必要な事項は校長が定める。

第1 3 職員会議

1 目的

職員会議は、校長の補助機関として、次に掲げる事項のうち、校長が必要と認めるものを取り扱う。

(1) 校長が学校の管理運営に関する方針等を周知すること。

(2) 校長が校務に関する決定等を行うに当たって、所属職員等の意見を聞くこと。

(3) 校長が所属職員等相互の連絡を図ること。

2 構成員

常勤の教職員。ただし、校長が認めた場合は他の職員も参加できる。

3 学校運営連絡協議会協議委員の参加

校長が必要と認めたときは、職員会議に学校運営連絡協議会協議委員を参加させることができる。

- 4 開催
定例会は月 1 回開催を基本する。臨時会は校長の判断に基づいて開く。
- 5 招集
校長が招集し、その運営を管理する。
- 6 司会
校長が選任する。
- 7 記録
校長が記録者を選任する。記録者は、会議の要旨を会議録として取りまとめ、会議終了後、会議録を校長に提出し、会議の要旨が正確に記載されているかの確認を受けなければならない。
- 8 運営
 - (1) 報告、意見聴取及び連絡に関する事項は、企画調整会議の事前に資料を添付し副校長に提出する。
 - (2) 校長の意思決定に資するため、職員会議において、必要に応じて構成員の意向を聞くことはあるが校長の意思決定を拘束するものではない。

第 1 4 主幹会議

- 1 目的
主幹会議は、学校経営上の課題について主幹教諭等が共通確認し、学校全体の業務の連絡調整を行い、円滑かつ効果的な学校運営を推進する。
- 2 構成員
4 級職の教諭で構成する。ただし、必要に応じて関係者に出席を求めることができる。
- 3 開催
定例会は原則毎月 2 回開催する。
- 4 招集
校長が招集し、その運営を管理する。
- 5 その他
必要な事項は校長が定める。

第 1 5 学部主任会

- 1 目的
学部主任会は、学部経営上の課題について共通確認し、業務の連絡調整を行い、円滑かつ効果的な学部運営を推進する。
- 2 構成員
各学部主任とする。ただし、必要に応じて関係者に出席を求めることができる。
- 3 開催
定例会は原則毎月 2 回開催する。
- 4 招集
校長が招集し、その運営を管理する。
- 5 その他
必要な事項は校長が定める。

第 1 6 教科会

- 1 目的
教科会は、各教科における指導目標、方針の共有及び授業進度の調整並びに教科指導に関する人材育成を進め体制を確保する。
- 2 所掌事項

- (1) 教科別の具体的な学習目標の策定及び検証に関すること。
- (2) 年間授業計画に関すること。
- (3) 授業の進度や指導内容の確認に関すること。
- (4) 定期考査及び学習評価に関すること。
- (5) 教務部との連絡・調整に関すること。
- (6) 教科指導力向上に必要なO J Tに関すること。
- (7) 教科指導に関わる物品管理に関すること。
- (8) その他、組織的な教科指導において、校長が特に必要と認めること。

3 構成員

教科を担当する常勤の教員

4 開催

定例会は原則月 1 回開催する。

5 招集

校長が招集し、その運営を管理する。

6 その他

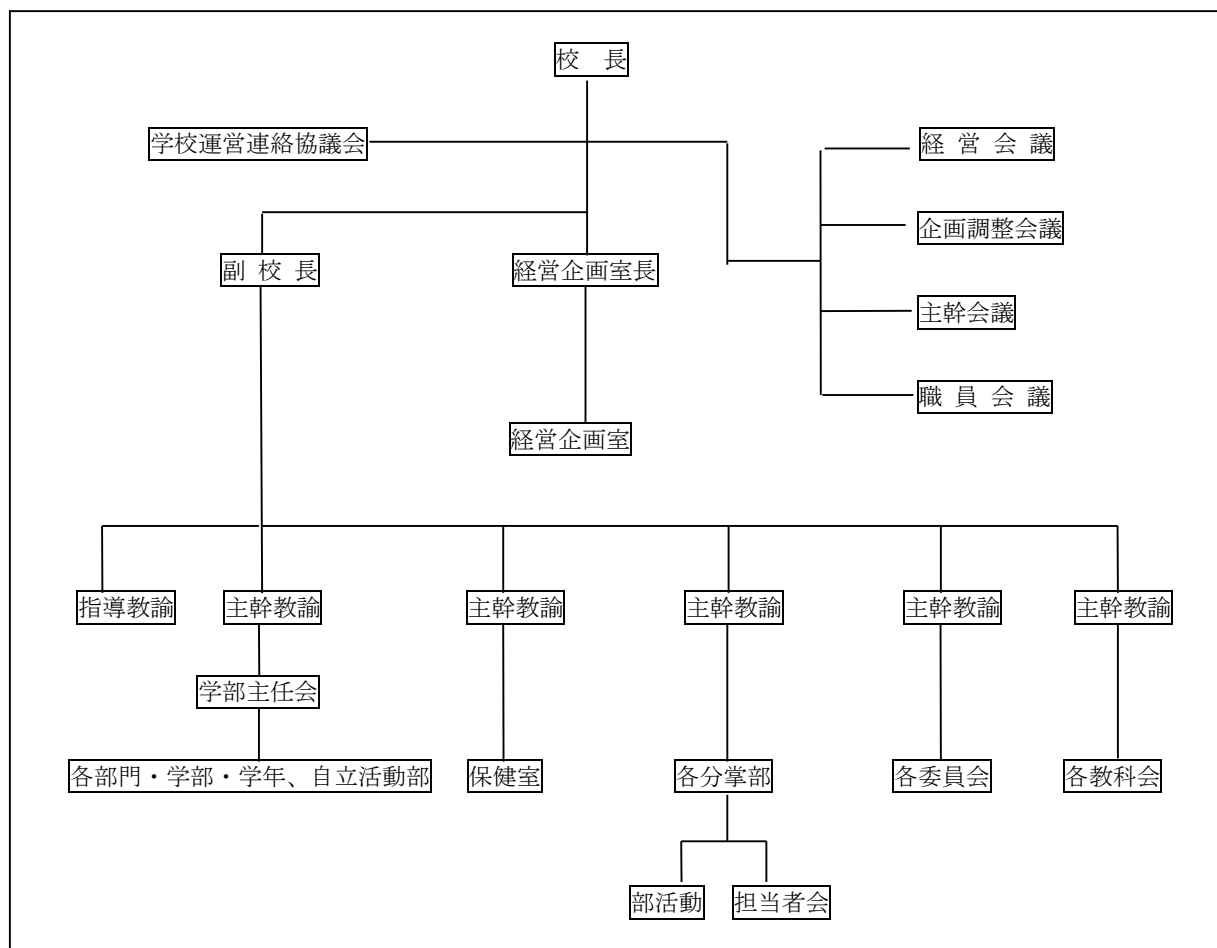
必要な事項は校長が定める。

第 1 7 学校運営連絡協議会

「東京都立町田の丘学園学校運営連絡協議会設置要綱」に基づいて、平成 1 3 年度から設置する。

第 1 8 分掌組織図

分掌組織図は、次のとおりとする。



第19 人事

分掌組織を構成する人事については、東京都教育委員会の権限に属するもののほかは、校長が定める。

第20 予算

校内予算の編成等については、「東京都立学校の予算編成等に係る規程」に基づき、適正かつ効率的な運営を図る。

第21 校内規定

校長は、この規程に基づき、その他の校内規定を定める。

第22 情報開示

この規程及びその他の校内規定については、保護者及び都民等の閲覧に供することができるよう整備する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。

Ⅶ 学校運営連絡協議会

学校運営連絡協議会設置要綱

第 1 (名称)

この会の名称を「都立町田の丘学園学校運営連絡協議会」(以下「学校運営連絡協議会」という。)とする。

第 2 (目的)

本校の教育活動が保護者・地域住民に理解され、かつ、本校の学校運営に保護者・地域社会の方々の意向が反映され、本校が地域に根ざし、より発展していくための学校支援組織とすることを目的とする。

第 3 (所掌事項)

学校運営連絡協議会は、学校運営に関する意見交換、教育活動の観察、学校評価等を通して協議を行い、校長に対し本校の学校運営、教育活動及び家庭・地域社会との連携について助言する。

第 4 (組織)

- 1 学校運営連絡協議会の委員は、校長の他、次のとおりとする。

協議委員は、校長が委嘱する保護者代表 1 名、地域の小中高等学校等の校長 2 名、関係機関の代表・有識者等 4 名程度の計 7 名程度とする。内部委員は、経営企画室室長、副校長、主幹教諭とする。

- 2 学校運営連絡協議会の中に評価委員会を置く。評価委員会は、学校連絡協議会が行う外部評価を計画・立案、実施、集計、学校評価報告書原案を作成する。

評価委員会の委員は、学校運営連絡協議会の委員の中から校長が委嘱する。

第 5 (任期)

委員の任期は、原則として当該年度の 4 月 1 日から 3 月 31 日までとする。

第 6 (役員)

- 1 学校運営連絡協議会に次の役員を置く。

会長 1 名、副会長 1 名、学校評価委員会委員長 1 名、事務局長 1 名

- 2 会長は校長とする。

- 3 副会長、評価委員会委員長、事務局長は、校長が選任する。

第 7 (会の開催回数・開催時期)

学校運営連絡協議会は、6 月、12 月、2 月、年 3 回開催する。

第 8 (会の公開)

学校運営連絡協議会は、原則として公開とする。ただし、会長が必要とする場合には、会長の判断により、非公開とすることができる。

第 9 (事務局)

都立町田の丘学園に学校運営連絡協議会事務局を置く。事務局に事務局長を置き、主幹教諭をもって充てる。

第 10 (その他)

この要綱は、校長が必要に応じて改正する。

(附則)

この要綱は、平成 19 年 5 月 30 日から施行する。

- 1 平成 20 年 4 月 1 日に一部改正する。
- 2 平成 23 年 4 月 1 日に一部改正する。
- 3 平成 25 年 4 月 1 日に一部改正する。
- 4 平成 26 年 4 月 1 日に一部改正する。
- 5 平成 27 年 4 月 1 日に一部改正する。

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立町田の丘学園 学校運営連絡協議会（肢体不自由教育部門 知的障害教育部門）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭＝事務局長1名、副校長1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長（3名）、経営企画室長、主幹教諭（2名） 計7名
- (4) 協議委員の構成
教職大学院特命教授、PTA担当、地域福祉理事長、市障害福祉課課長、ハローワーク専門援助部門
統括、近隣中学校校長、近隣高等学校校長 計7名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月3日（火）内部委員7名、協議委員7名
委員委嘱、委員紹介、令和7年度学校経営計画説明、令和7年度学校評価の基本方針に関する説明、授業見学
 - 第2回 令和7年10月16日（木）内部委員7名、協議委員7名
授業見学、第1回学校評価報告及び第2回学校評価について、提言に向けての意見交換
 - 第3回 令和8年2月20日（金）内部委員7名、協議委員7名
学校評価の報告、学校評価のまとめ
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月3日（火）内部委員3名、評価委員2名
令和7年度学校評価の基本方針に関する説明
 - 第2回 令和7年10月16日（木）内部委員3名、評価委員2名
第1回学校評価報告及び第2回学校評価
 - 第3回 令和7年12月5日（金）内部委員3名、評価委員2名
中学部・高等部生徒評価（聞き取り）
 - 第4回 令和8年2月20日（金）内部委員3名、評価委員2名
学校評価のまとめ

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

第1回学校評価アンケート

・7月	保護者全員	対象：337人	回収：197人	回収率：58.4%
	教職員	対象：161人	回収：161人	回収率：100%
	全校児童・生徒	対象：357人	回収：357人	回収率：100%
・12月	中学部・高等部生徒代表	10人（聞き取り）		

第2回学校評価アンケート

・12月	保護者全員	対象：337人	回収：308人	回収率：91.4%
	教職員	対象：159人	回収：159人	回収率：100%
	全校児童・生徒	対象：358人	回収：358人	回収率：100%
	企業・福祉	対象：75社	回収：40社	回収率：53.3%

(3) 主な評価項目

- ・学校生活、学習指導、生活指導、進路指導、キャリア教育、健康・安全、感染症対策、施設・設備
ICTの活用、情報の発信、外部専門員の活用、ライフワークバランスの推進など

(4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

- ・保護者アンケートについては、昨年度の回収率89.0%から91.4%に上昇。全体的に高い評価となり、A評価とB評価を足して95%以上の項目が11項目中10項目。評価が高かった項目（A評価75%以上）

は「5の衛生管理など健康への取組」「7の教育環境の整備・活用、防災、安全対策等への取組」。評価が低かった項目（A評価60%以下）は「8のICTを活用した取組」「10の小学部・中学部進路情報、高等部進路情報」となった。

（5）評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・本年度は、7月と12月に学校評価アンケートを実施し、1回目のアンケート結果を受けて、早期に対応を検討した。昨年度と同様、基本的にインターネット経由での回答をお願いした。用紙にインターネットで回答した場合のチェック欄を設けた。その結果提出状況の把握が行いやすくなり、回収率の上昇につながった。全ての項目で評価が上昇しているが、ICTの活用については、肯定的評価が90%を下まわっている。日頃の取り組みについて情報発信すると共に、学校公開や保護者参観などでICTの取組についてより一層周知していく必要がある。また、教職員のアンケート結果を見て、協議委員より教職員の働き方改革についてより一層の取り組みを進めていくように提言があった。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校全体の取組について、協議会委員や評価委員の意見をもとに改善に取り組むことができた。また数値だけではなく、自由意見にも着目し、それぞれに回答を考え、改善につなげることができた。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・今年度重点的に取り組んできた情報提供についてだが、より一層伝わる工夫を考えていく必要がある。学校として質の向上だけを約束していくのではなく、学校と家庭で互いの現状を伝えあうことにより、教職員がストレスをため込まず、やりがいや誇りをもって職務にあたる必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）＜人権尊重の精神に基づく教育活動の推進＞

教員の声として研修等を通じて、他学部等の情報共有の大切さが指摘された。保護者も含めて情報発信・共有の方法を具体化することで、保護者からの信頼も高まると考える。若手の教員が増えている中、人権尊重の意識を高め、ハラスメント、いじめ防止研修などで自己理解、相互点検できる場を計画する。

（2）＜児童・生徒の健康・安全を最優先にした教育活動の充実＞

大規模災害時における児童・生徒の安全確保に向けて、保護者との危機意識の共有を図るとともに、地域の関係機関との連携や支援内容について情報を共有することが重要である。教職員の危機管理意識をさらに高めるための取組を、今後一層推進する。

（3）＜タブレット端末、デジタル教材の一層の活用と情報発信及び管理の徹底＞

教職員・保護者ともに、他の項目と比べてA評価が50%を下回っている点について、要因を丁寧に分析することが必要である。ハード面が整備されつつある今こそ、各学部の特性に応じた活用内容や方法、その効果を中期的視点で整理・検証していく。また、その成果を積極的に情報発信（授業参観・便り等）し、保護者や地域と共有する。

（4）＜働き方改革の一層の推進＞

知肢併置の6学部を有する学校として、効率的な校務運営・学部運営の実現や教育DXの推進とともに、特定の教職員に業務が偏らないよう、引き続き改善に努めてく。また、教職員のメンタル面へのケアについても、相談体制の充実などに取り組んでいく。

（5）＜若手教員育成の組織的な取組み＞

若手教員の育成は、町田の丘学園のみならず、東京都の特別支援学校全体にとって喫緊の課題である。その課題に対し、「若手教員と育ち合う授業づくり」を全校的なテーマとして取り組んできた。若手教員の専門性向上に向けて、今後も研修を一層充実させるとともに、取組内容の情報発信を進め、保護者や地域からの意見を生かした改善を図っていく。

(6) <体育館及びグラウンドの有効活用の推進>

校舎改築工事が昨年7月に終了し、学校の施設・整備がハード面では整った。この施設・設備を保護者や地域からのニーズを受け止め、有効活用に努めていく必要がある。また、実習棟など整備に伴い、高等部の作業学習の改善・充実に向けて取り組んでいく。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人(100%)

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 5人(71.4%)

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
3	2					2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果
本校では実施していない。

8 その他
特になし

Ⅷ 卒業生進路先状況

1 A部門（肢体不自由教育部門）

卒業年度	総人数	進学	（一般就労 企業等）	職業能力開発校等	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	自立訓練	その他
R7年度	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0
R6年度	5	0	0	0	0	0	2	3	0	0
R5年度	6	0	1	0	0	0	0	5	0	0
R4年度	7	0	0	0	0	0	0	6	0	1
R3年度	4	1	0	0	0	0	0	3	0	0
計	27	1	1	0	0	0	2	22	0	1

※ 福祉事業所の進路先については、令和8年4月1日時点の事業体系で算出

2 B部門（知的障害教育部門）

卒業年度	総人数	進学	（一般就労 企業等）	職業能力開発校等	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	自立訓練	その他
R7年度	45	0	19	0	0	0	15	9	1	1
R6年度	42	0	14	0	0	1	11	12	3	1
R5年度	47	0	14	0	0	1	13	14	1	4
R4年度	41	0	9	0	3	1	11	11	1	5
R3年度	43	0	17	0	0	1	10	10	4	1
計	218	0	73	0	3	4	60	56	10	12

※ 福祉事業所の進路先については、令和8年4月1日時点の事業体系で算出

3 一般就労（企業等）内訳（A部門とB部門の合算）

卒業年度	総人数	事務作業系	製造作業系	倉庫物流・作業系	小売販売系	厨房・飲食・作業系	福祉衛生等
R7年度	19	0	1	4	7	4	3
R6年度	14	2	0	3	1	2	6
R5年度	15	3	0	3	3	2	4
R4年度	9	0	0	1	1	5	2
R3年度	17	1	0	4	6	2	4
計	74	6	1	15	18	15	19

Ⅸ 防災・安全対策

○本校では、学校経営計画の目指す学校像を実現するために、「安全・安心な学習環境の整備及び地域と連携した防災対策等の強化」を主な取り組みとしています。

学校が安全・安心な場所となるためには、実際に想定した訓練や防災意識及び対応力を向上させるなど、防災・安全対策は欠かせません。校内の組織的な対応だけでなく、地域との連携を図りながらより安全・安心な学校を進めていきます。

1 災害時の対応について

災害発生時等、町田市のセンター校として、役割を果たすために以下の役割を担っています。

(1) 町田市との協定に基づく避難所等の運営について

- ・町田市と「障害者を対象にした避難所施設利用に関する協定」を結んでおり、障害者を対象にした2次避難所として指定されています。

(2) 学校の災害時帰宅支援ステーションとしての役割について

- ・島しょを除く都立学校は、帰宅支援ステーションとして指定されています。震災時に徒歩帰宅者に対し、水、トイレ、沿道の情報等を提供します。（本校では、水、発電機その他、毛布も備蓄しています。）

(3) 災害時の地域住民との連携体制について

- ・防災教育推進委員会には、地域代表者の方も委員として加わっております。地域と学校の強みを生かし、協力体制を構築していきます。

2 日常の防災の取組について

日常の取組としては、避難の妨げにならないよう環境整備に努めています。また、より臨場感ある避難訓練を体験することが何よりも大切なため、毎月実施する避難訓練には、以下のとおり様々な工夫をしています。

(1) 避難訓練

ア 緊急地震速報の活用

- ・児童・生徒が自ら安全な行動を取れるよう、緊急地震速報を使用しています。この警報音が鳴ってから、1学期は15秒後に地震が来ると設定し、児童・生徒はその間にどのように自ら安全を確保するか、教員は安全確保のため、どのような動きをとることができるかが訓練できます。2学期以降は施設一部倒壊での通行禁止エリアの設定や防火扉を閉める訓練も実施予定です。

イ 開始時刻を伝えない

- ・突然地震が起きたとき、どこにいても自ら安全を確保したり、落ち着いた行動をしたりすることができるように、計画的に行います。

ウ 消防署との連携

- ・起震車体験、消火器訓練、煙ハウス体験等、様々な場面で消防署との協力を仰ぎ、児童・生徒の避難の様子も見てもらうことで、緊張感がある訓練になります。また助言をいただくことができるので、改善にもつながります。

エ 避難経路を指定する。

- ・本校における地震の避難訓練では、避難経路の確認をしてから避難を開始しています。

避難ができない経路を設定し、校内放送を落ち着いて聞くことも大切なことです。校内放送では、避難可能な経路のみを伝えています。

(2) 防災訓練

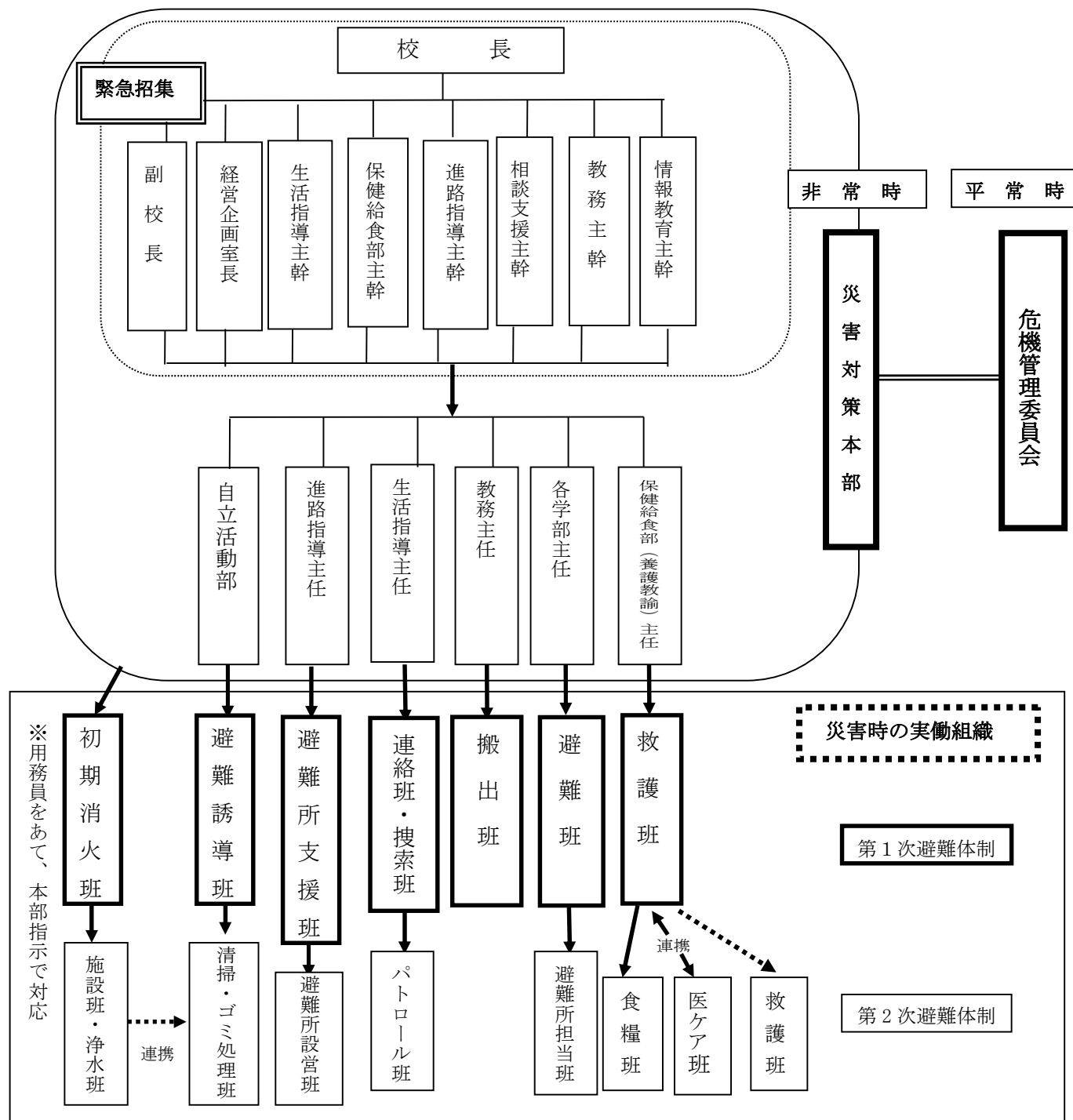
○9月には、地域と連携した防災訓練及び教職員による引渡しシミュレーションを実施しています。

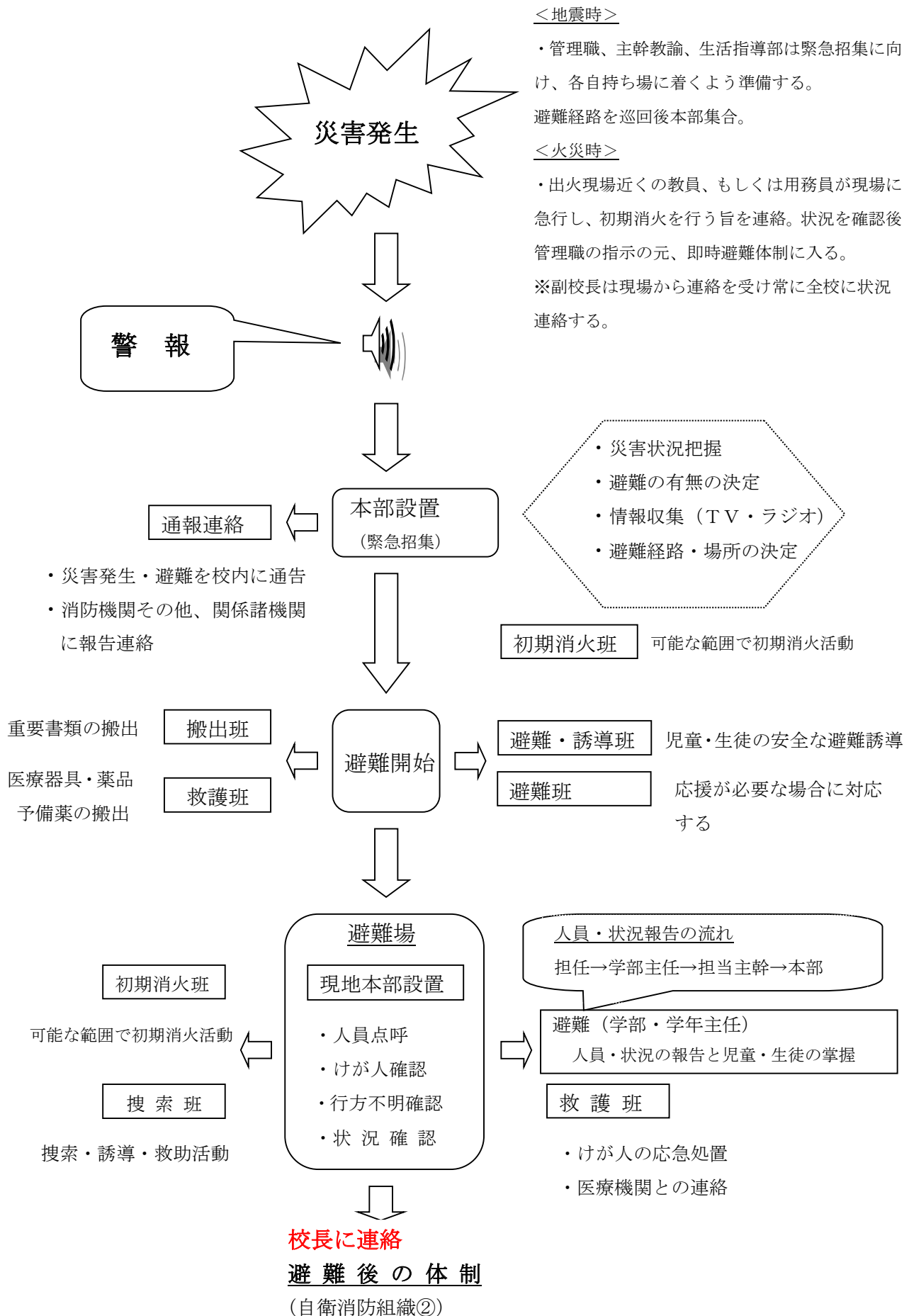
「危機管理マニュアル」に沿った、教員の役割（自衛消防体制①・②）の確認を行います。

3 その他

防災組織と行動内容

○本校組織図及び緊急時の体制





<地震時>

・管理職、主幹教諭、生活指導部は緊急招集に向け、各自持ち場に着くよう準備する。

避難経路を巡回後本部集合。

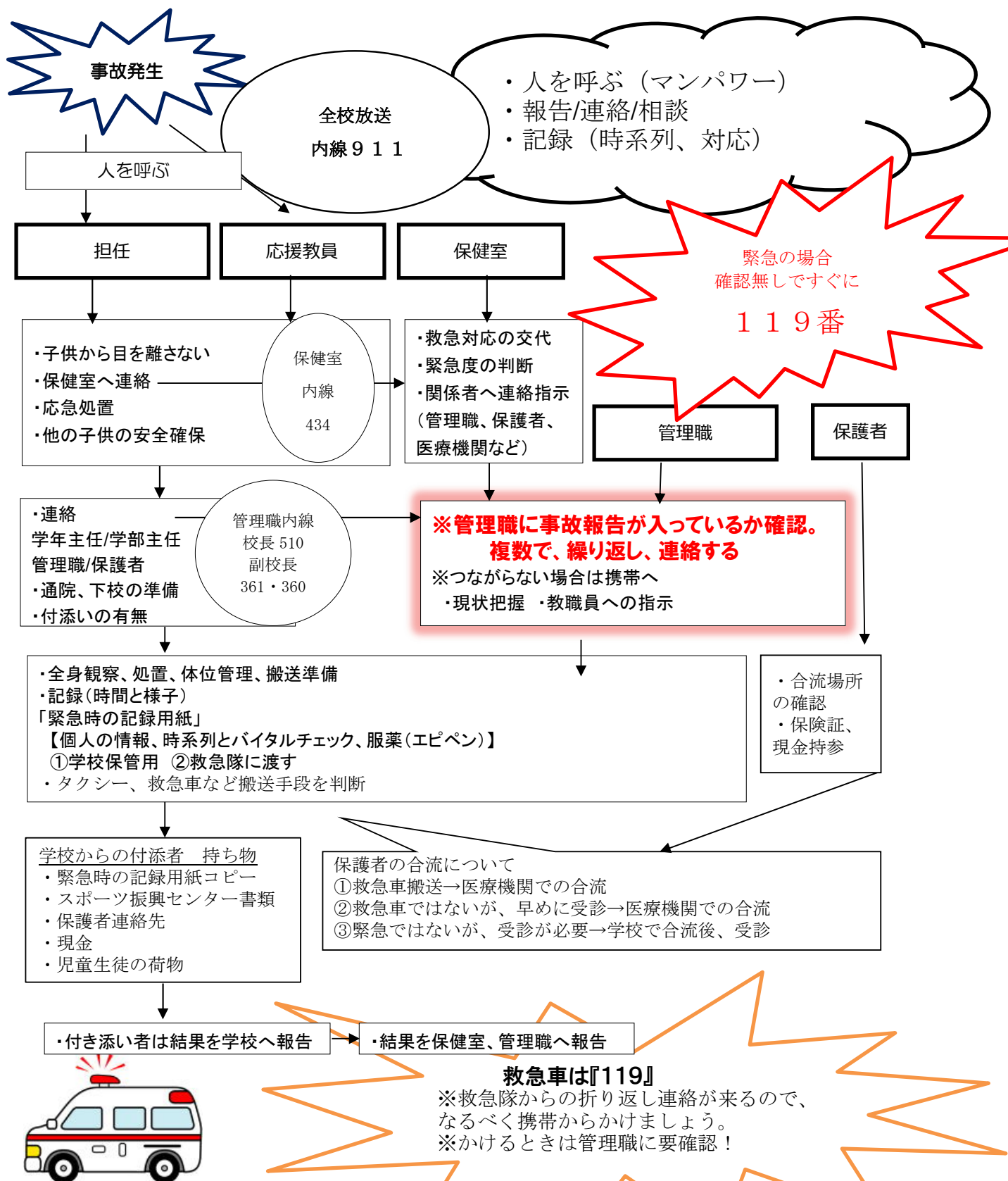
<火災時>

・出火現場近くの教員、もしくは用務員が現場に急行し、初期消火を行う旨を連絡。状況を確認後管理職の指示の元、即時避難体制に入る。

※副校長は現場から連絡を受け常に全校に状況連絡する。

* 避難場所 グラウンド

I 緊急時の対応フローチャート（掲示期間：通年）



X 予算概要

1 本校における予算概要

(単位:千円)

区 分			令和 8年度 (予 算)	令和 7年度 (決 算)	摘 要	
	事 業 費		595,345	566,655		
	内 訳	管理運営に関わる経費 (うち自律経営推進予算)	514,121 (29,900)	483,373 (27,531)		
		内	教職員関係費	25,017	24,049	教職員旅費、共済費
			管理運営費	443,354	422,881	教材教具、スクールバス等
		訳	維持補修費	45,750	36,443	建物維持管理(光熱水費・ 保守委託・ごみ処理等)
			教育指導研修に関わる経費	945	1,095	指導研修費、地域理解等
			開放事業に関わる経費	7	32	公開講座、施設開放事業
			保健給食に関わる経費	80,272	82,155	保健及び給食関係費
	計		595,345	566,655		
歳入 (特定財源)	使用料及び手数料		150	176	授業料・入学考査料・土地使 用料・証明書交付等	
	財産収入		130	156	生産品売り払い	
	諸 収 入		200	202	光熱水費・雑入等	
	計		480	534		
差引一般財源			595,825	566,121		

※ 令和 8年度(当年度)予算は、当初見込額である。

※ 令和 7年度(前年度)決算は、8年4月末現在の見込額である。

(単位:千円)

令和 7 年職員費	1,412,189
-----------	-----------

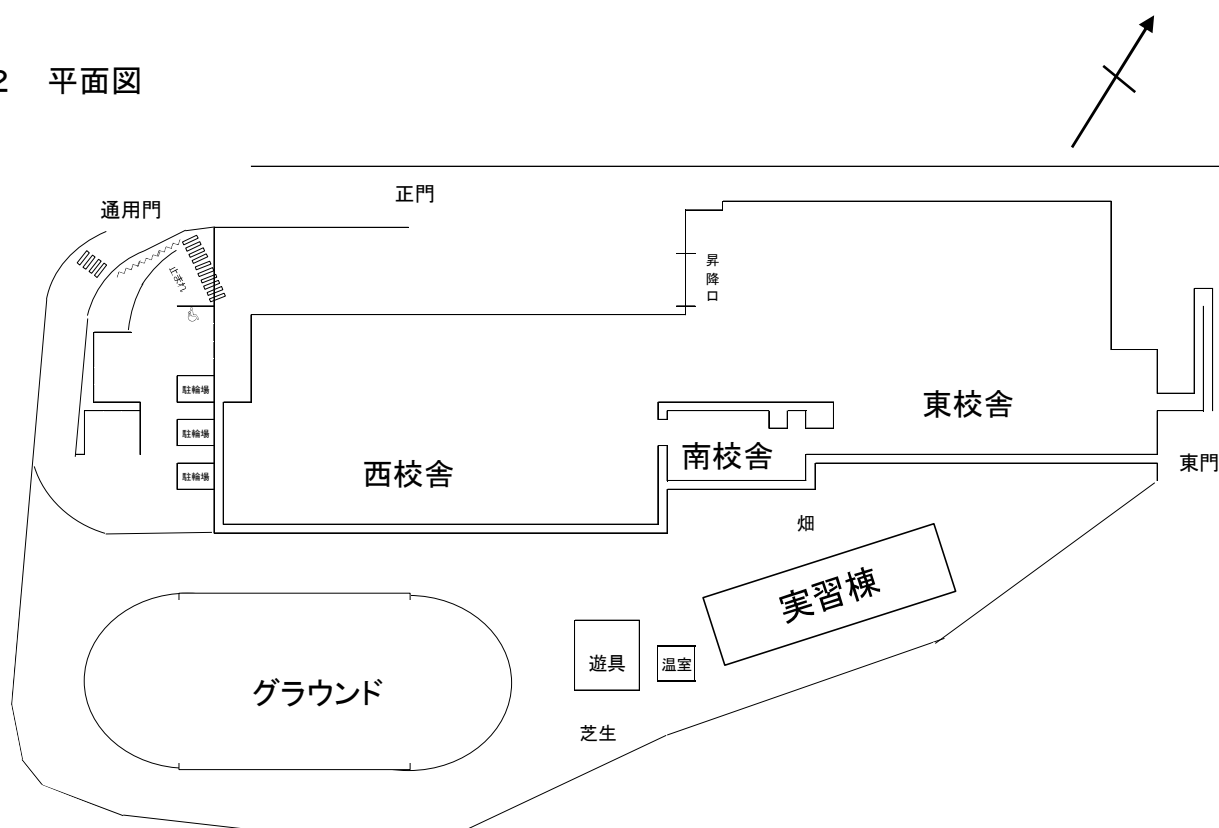
※ 上記の職員費は、令和7年度における常勤教職員、再雇用職員、非常勤講師の人件費であり、事業主負担分を除く。

XI 施設設備概要

1 施設の概要

校舎延床面積	16892.88 m ²
校地面積	19519.86 m ²
プール	250 m ²
普通教室	長尺シート、空調・給湯設備付
廊下	長尺シート、フローリング
スロープ	屋内スロープ1か所、屋外スロープ1か所
エレベータ	29人乗（車イス3台）2基
グラウンド	1面 150mトラック
実習棟	247.36 m ²
温室	97.05 m ²

2 平面図



<アクセス>



大型・小型に関わらず、
こちらの道を御使用ください。

【本校への交通案内】

- ① **小田急線鶴川駅下車** 6 番バス停 鶴 33、鶴 37、鶴 66 系統 野津田車庫行又は淵野辺行
(所要時間 18 分) 野津田車庫下車徒歩 12 分
- ② **小田急線・ＪＲ横浜線町田駅下車**
町田バスセンター 14 番バス停 町 26 系統 野津田車庫行図師經由
(所要時間 35 分) 神学校下車徒歩 18 分
- ③ **小田急線・ＪＲ横浜線町田駅下車**
北口ＰＯＰビル前 21 番バス停 町 55 系統 野津田車庫行本町田經由
(所要時間 25 分) 野津田車庫下車徒歩 10 分
- ④ **小田急線・京王線多摩センター駅下車**
10 番バス停 鶴 32 系統 鶴川行小野路・青木葉公園經由
(所要時間 14 分) 小野神社前下車徒歩 18 分

東京都立町田の丘学園校歌

作詞 猪野塚由美

(本校卒業生徒の姉)

作曲 真鍋 万里子

(本校旧職員)

監修 校歌制定委員会

一 今 芽を出した ぼくたち

まだ ほんの子どもだけど

いつか きっと 花が咲く

そうしたら いっしょに 歌おうよ

野津田の山に 咲きならぶ

ぼくたちの花を

二 今 芽を出した わたしたち

まだ ほんの子どもだけど

いつか きっと 強くなる

そうしたら いっしょに 歌おうよ

野津田の空に うかんでる

わたしたちの夢を



リサイクル適性[Ⓐ]
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。